

METHOD AND DEVICE FOR CONVERTING POINT BASED ON POINT SYSTEM AND RECORDING MEDIUM

Publication number: JP2002140642

Publication date: 2002-05-17

Inventor: FUJIWARA TOMONARI; YASUSHIGE YOSHIHIRO; SAITO KIMIMOTO; ONAKADA IKUKO

Applicant: AEON CREDIT SERVICE CO LTD; ACCENTURE KK

Classification:

- international: G06Q30/00; G06Q20/00; G06Q30/00; G06Q20/00; (IPC1-7): G06F17/60

- european:

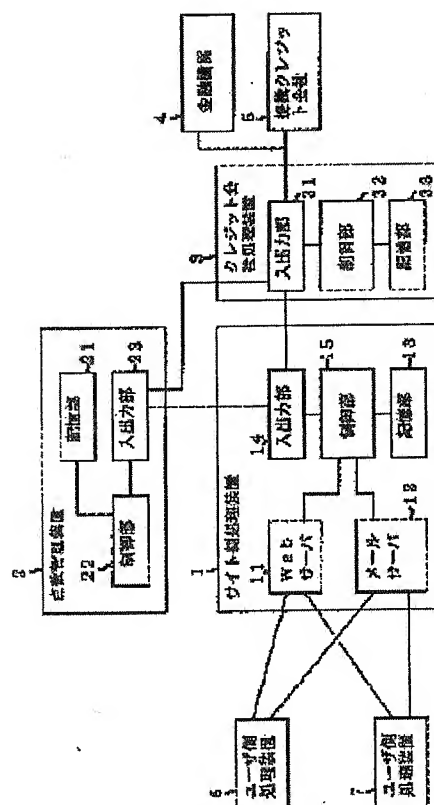
Application number: JP20000332874 20001031

Priority number(s): JP20000332874 20001031

Report a data error here

Abstract of JP2002140642

PROBLEM TO BE SOLVED: To convert points issued on the basis of a 1st point system operated by an organization for issuing a credit card into points available on a communication network, issued on a 2nd point system operated by the organization. **SOLUTION:** A conversion request from the points based on the 1st point system into the points based on the 2nd point system is received from a person to be applied who receives the application of both the 1st and the 2nd point systems operated by the organization of issuing the credit card through the communication network (1), the points are converted on the basis of a request of the person to be applied (2), the converted points based on the 1st point system are subtracted from the point balance of the points based on the 1st point system of the person to be applied (3), and the converted points based on the 2nd point system are added to the point balance of the points based on the 2nd point system of the person to be applied (4).



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-140642

(P2002-140642A)

(43) 公開日 平成14年5月17日 (2002.5.17)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	チーエーエー(参考)
G 0 6 F 17/60	4 1 0	G 0 6 F 17/60	4 1 0 G 5 B 0 4 9
	3 2 4		3 2 4 5 B 0 5 5
	4 0 0		4 0 0

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 35 頁)

(21) 出願番号 特願2000-332874(P2000-332874)

(22) 出願日 平成12年10月31日(2000.10.31)

(71) 出願人 399087983

イオンクレジットサービス株式会社
東京都千代田区神田錦町1丁目1番地

(71) 出願人 399063884

アクセンチュア株式会社
東京都港区赤坂7丁目1番16号

(72) 発明者 藤原 呂也

東京都千代田区神田錦町1丁目1番地 イ
オンクレジットサービス株式会社内

(74) 代理人 100089705

弁理士 社本 一夫 (外5名)

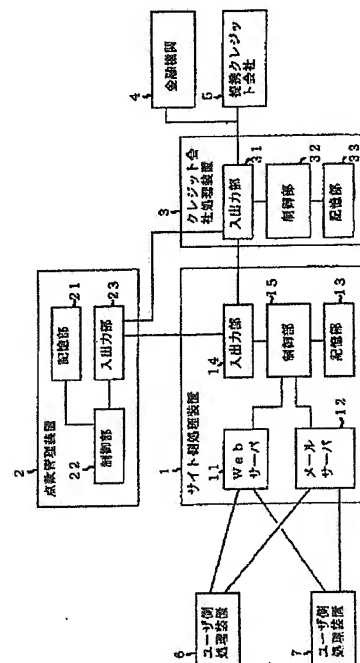
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 点数制度に基づくポイントを変換する方法、装置および記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記組織が運用する第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ変換する。

【解決手段】 (1) クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度および第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、第1の点数制度に基づくポイントから第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を通信ネットワークを介して受け付け、(2) 被適用者の依頼に基づいてポイントを変換し、(3) 被適用者の第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、変換した第1の点数制度に基づくポイントを減算し、(4) 被適用者の第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、変換した第2の点数制度に基づくポイントを加算する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記クレジット・カードを発行する前記組織が運用する第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ通信ネットワークを介して変換する方法。

【請求項2】 (1) 前記第1の点数制度および前記第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、前記第1の点数制度に基づくポイントから前記第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を、通信ネットワークを介して受け付けるステップと、

(2) 前記被適用者の前記依頼に基づいて、前記第1の点数制度に基づくポイントを、前記第2の点数制度に基づくポイントへ変換するステップと、

(3) 前記被適用者の前記第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、前記ステップ(2)で変換した前記第1の点数制度に基づくポイントを減算するステップと、

(4) 前記被適用者の前記第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、前記ステップ(2)で変換した前記第2の点数制度に基づくポイントを加算するステップとを備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】 クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記クレジット・カードを発行する前記組織が運用する第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ通信ネットワークを介して変換する装置。

【請求項4】 (1) 前記第1の点数制度および前記第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、前記第1の点数制度に基づくポイントから前記第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を、通信ネットワークを介して受け付ける手段と、

(2) 前記被適用者の前記依頼に基づいて、前記第1の点数制度に基づくポイントを、前記第2の点数制度に基づくポイントへ変換する手段と、

(3) 前記被適用者の前記第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、前記(2)の手段で変換した前記第1の点数制度に基づくポイントを減算する手段と、

(4) 前記被適用者の前記第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、前記(2)の手段で変換した前記第2の点数制度に基づくポイントを加算する手段とを備える、

請求項3に記載の装置。

【請求項5】 クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記クレジット・カードを発行する前記組織が運用する

第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ通信ネットワークを介して変換する手順をコンピュータに実行させるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項6】 前記変換する手順が、

(1) 前記第1の点数制度および前記第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、前記第1の点数制度に基づくポイントから前記第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を、通信ネットワークを介して受け付けるステップと、

(2) 前記被適用者の前記依頼に基づいて、前記第1の点数制度に基づくポイントを、前記第2の点数制度に基づくポイントへ変換するステップと、

(3) 前記被適用者の前記第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、前記ステップ(2)で変換した前記第1の点数制度に基づくポイントを減算するステップと、

(4) 前記被適用者の前記第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、前記ステップ(2)で変換した前記第2の点数制度に基づくポイントを加算するステップとを備える、

請求項5に記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信ネットワーク上に開設されたサイトにおいて実施する点数制度に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット等の通信ネットワーク上に開設されたサイトには、商品を販売するサイトがある。そのようなサイトの中には、商品を購入したときの代金の決済を行うシステムを備えるサイトがある。決済を行うシステムを備えたサイトの一例を以下に説明する。

【0003】商品を販売するサイトにおいて商品を購入しようとするユーザは、予めそのサイトの会員となる。ユーザは、サイトの会員となるために、サイト側に、ユーザの個人情報(住所、氏名など)、クレジット・カードのカード番号、このサイトにおけるユーザのID、およびIDに対応するパスワードなどのデータを登録しておく。このサイトでユーザが購買した商品の代金の決済は、このユーザ側がこのサイトに登録したクレジット・カードを用いて行われる。

【0004】サイトの会員(サイト会員)となったユーザが、商品を購入する(ネットショッピング)ためにそのサイトに通信ネットワークを介してアクセスし、このサイトで販売されている商品の購買を決定すると、ユーザ、即ち、サイト会員は、ユーザ側の処理装置(例えば、パーソナル・コンピュータ)の表示部に表示された画面中の、購買の申込みを行うためのデータの入力欄に

10

20

30

40

50

必要なデータを入力する。入力するデータは、サイト会員のID、パスワード、購買する商品を識別する商品番号、商品の個数などである。

【0005】サイトは、商品の購買を申込むデータをサイト会員の処理装置から受信すると、サイト会員のIDおよびパスワードに基づいて、サイト側の記憶部に記憶しているサイト会員のクレジット・カードのカード番号を読み出し、そのクレジット・カードを発行したクレジット会社へ料金の支払いを請求する。サイトは、料金をクレジット会社から受取り、商品を、記憶部に記憶しているサイト会員の住所へ発送する。このように、サイト会員となったユーザは、そのサイトで、IDとパスワードとを入力することにより、商品を購入することが可能となる。

【0006】また、サイトの中には、サイトにおいて所定の行為を行ったサイト会員に対して、ポイント（点数）を付与する点数制度を実施しているサイトもある。例えば、サイト会員が特定の広告をサイト会員の処理装置で表示させたとき、即ち、サイト会員が特定の広告を見たときに、そのサイト会員に対してポイントが付与するように点数制度の規則を構成できる。サイトにおいてサイト会員が獲得したポイントは、各サイト会員毎にサイトが管理する。

【0007】サイトで獲得したポイントは、ポイント数に応じて、サイト側で予め選択している景品と交換することができる。サイトは、サイト会員が獲得したポイントと景品とを交換するためのページを設けている。サイト会員がポイントと景品との交換を希望する場合、サイト会員はサイトの景品交換用ページを開き、サイト会員の所有するポイント数で獲得可能な所望の景品を選択し、ポイントと景品の交換の申込みを行うための入力欄から、サイト会員のID、パスワード、景品番号、景品の個数を入力する。サイトはこの入力に回答して、サイト会員の所有するポイント数から、使用されたポイント数を減算し、ポイント残高を更新する。サイトは、景品交換の申込みを受け付けを完了すると、景品を、記憶部に記憶しているサイト会員の住所へ発送する。

【0008】この点数制度は、例えば、このサイトで広告の表示を行う業者や、このサイトのページを用いて営業活動を行う業者（例えば、オンラインで申込みを受け付ける保険会社、ローン会社、物品を販売する会社など）から得たサイト使用料などを財源とする。この点数制度の主な目的は、サイトが得た利益の一部をサイト会員へ還元すること、サイト自体およびサイトで販売する商品の広告効果を得ること、サイトで販売する商品の販売促進効果を得ることなどである。

【0009】しかし、サイト会員がこのサイトで獲得したポイントは、サイト側が予め準備している景品と交換すること以外には使用できない欠点がある。更に、現時点では、通信ネットワーク上に開設されたサイトにお

る決済システムと点数制度とを関連付けたサービスは提供されておらず、そのようなサービスを提供することが望まれている。

【0010】また、点数制度を実施しているのはサイトのみではなく、例えば、クレジット会社なども独自の点数制度を実施している。現在、多くのクレジット会社は、会員がクレジット・カードを使用して支払った金額に応じて、その会員にクレジット会社の点数制度に基づくポイントを付与し、各会員毎にポイント数を管理している。この点数制度では、会員は、獲得したポイント数に応じて、クレジット会社が予め準備している景品（商品券なども含む）と交換することができる。しかし、このポイントもまた、上記のサイトの点数制度と同様に、クレジット会社が予め準備している景品と交換する以外には使用できない欠点がある。従って、このような或る点数制度、例えば、クレジット会社の点数制度に基づくポイントを、別の点数制度、例えば、サイトにおける点数制度の下に使用可能とすることが望まれている。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、サイトの点数制度に基づくポイントを多種の用途に使用可能とすることを目的とする。

【0012】本発明は、サイトの点数制度に基づくポイントを多種の方法で獲得可能とすることを目的とする。本発明は、通信ネットワーク上に開設されたサイトにおける決済システムと点数制度とを統合したサービスを提供することを目的とする。

【0013】本発明は、或る点数制度に基づくポイントを、別の点数制度の下において使用可能とすることを目的とする。

【0014】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1に記載のポイントを変換する方法は、クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記クレジット・カードを発行する前記組織が運用する第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ通信ネットワークを介して変換する。

【0015】本発明の請求項2に記載の方法は、請求項1に記載の方法において、（1）前記第1の点数制度および前記第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、前記第1の点数制度に基づくポイントから前記第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を、通信ネットワークを介して受け付けるステップと、（2）前記被適用者の前記依頼に基づいて、前記第1の点数制度に基づくポイントを、前記第2の点数制度に基づくポイントへ変換するステップと、（3）前記被適用者の前記第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、前記ステップ（2）で変換した前記第1の点数制度に基づくポイントを減算するステップと、（4）前記被適用

者の前記第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、前記ステップ(2)で変換した前記第2の点数制度に基づくポイントを加算するステップとを備える。

【0016】本発明の請求項3に記載のポイントを変換する装置は、クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記クレジット・カードを発行する前記組織が運用する第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ通信ネットワークを介して変換する。

【0017】本発明の請求項4に記載の装置は、請求項3に記載の装置において、(1)前記第1の点数制度および前記第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、前記第1の点数制度に基づくポイントから前記第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を、通信ネットワークを介して受け付ける手段と、(2)前記被適用者の前記依頼に基づいて、前記第1の点数制度に基づくポイントを、前記第2の点数制度に基づくポイントへ変換する手段と、(3)前記被適用者の前記第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、前記(2)の手段で変換した前記第1の点数制度に基づくポイントを減算する手段と、(4)前記被適用者の前記第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、前記(2)の手段で変換した前記第2の点数制度に基づくポイントを加算する手段とを備える。

【0018】本発明の請求項5に記載の記録媒体は、クレジット・カードを発行する組織が運用する第1の点数制度に基づいて発行したポイントを、前記クレジット・カードを発行する前記組織が運用する第2の点数制度に基づいて発行する通信ネットワーク上で使用可能なポイントへ通信ネットワークを介して変換する手順をコンピュータに実行させるプログラムを記録する。

【0019】本発明の請求項6に記載の記録媒体は、請求項5に記録の記録媒体において、前記変換する手順が、(1)前記第1の点数制度および前記第2の点数制度の双方の適用を受ける被適用者から、前記第1の点数制度に基づくポイントから前記第2の点数制度に基づくポイントへの変換の依頼を、通信ネットワークを介して受け付けるステップと、(2)前記被適用者の前記依頼に基づいて、前記第1の点数制度に基づくポイントを、前記第2の点数制度に基づくポイントへ変換するステップと、(3)前記被適用者の前記第1の点数制度に基づくポイントのポイント残高から、前記ステップ(2)で変換した前記第1の点数制度に基づくポイントを減算するステップと、(4)前記被適用者の前記第2の点数制度に基づくポイントのポイント残高へ、前記ステップ(2)で変換した前記第2の点数制度に基づくポイントを加算するステップとを備える。

【0020】

【発明の実施の形態】本発明の装置の一実施形態につい

て説明する。図1は、本発明の一実施形態の装置の全体的な構成を示す。この装置は、決済システムと点数制度を統合したサービスを提供し、かつクレジット・カードを使用することにより獲得したポイント(クレジット会社の点数制度に基づくポイント)をサイトの点数制度の下に使用できるようにする。

【0021】この装置は、インターネット等の通信ネットワーク上にサイトを構成するサイト側処理装置1と、サイト側で定めた点数制度に関する処理を行う点数管理装置2と、ユーザのクレジット・カードを発行したクレジット会社(クレジット会社処理装置)3と、決済用の口座が開設されている金融機関4と、上記のクレジット会社と提携しているクレジット会社(提携クレジット会社)5と、ユーザの処理装置(ユーザ側処理装置)6および7を含む。

【0022】サイト側処理装置1は、多数のサービスを提供する複数のページを含むサイトを通信ネットワーク上に構成する装置である。サイト側処理装置1は、Webサーバ11と、メール・サーバ12と、記憶部13と、入出力部14と、制御部15を含む。Webサーバ11、メール・サーバ12、記憶部13、および入出力部14は、制御部15に結合される。制御部15は、サイト側処理装置1の各部の制御およびサイトが提供する各種サービスに関連するデータの処理を行う。ユーザ側処理装置6は、サイト側処理装置1のWebサーバ11およびメール・サーバ12に、インターネット等の通信ネットワークを介して結合される。

【0023】点数管理装置2は、各サイト会員のポイントに関するデータを管理する装置である。点数管理装置2は、記憶部21と、制御部22と、入出力部23を含む。記憶部21および入出力部23は制御部22に結合される。制御部22は、点数管理装置2の各部の制御と、サイト会員のポイントに関連するデータの処理とを行う。点数管理装置2の入出力部23は、専用の通信回線を介して、サイト側処理装置1の入出力部14と、クレジット会社処理装置3とに結合され、ポイントに関するデータを通信する。図1では、サイト側処理装置1と点数管理装置2とを個別の装置として示しているが、1つの一体化した装置として実現することも可能である。

【0024】クレジット会社処理装置3は、サイトにおける決済サービスに関する処理と、このクレジット会社処理装置3を使用して業務を行っているクレジット会社が発行したクレジット・カードに関する処理を行う。クレジット会社処理装置3は、入出力部31と、制御部32と、記憶部33を含む。入出力部31および記憶部33は制御部32に結合される。制御部32は、クレジット会社処理装置3の各部の制御、クレジット・カードに関連するデータの処理、およびサイトにおける決済サービスに関連するデータの処理を行う。記憶部33には、このクレジット・カード会社のカード会員に関する

データが記録されている。クレジット会社処理装置3の入出力部31とサイト側処理装置1の入出力部14とは、専用の通信回線を介して結合される。

【0025】サイト側処理装置1を用いてサイトを運営する会社と、クレジット会社処理装置3を用いてクレジット関連の業務を行うクレジット会社とは、サイトにおけるネットショッピングの決済サービスの業務を行うために提携した別個の会社であってもよいが、この実施形態では、サイト側処理装置1により構成されるサイトは、このクレジット会社により運営されるサイトであるものとする。即ち、サイトが提供するサービスは、このクレジット会社が提供するサービスであるものとする。このような場合には、図1において個別の装置として示しているサイト側処理装置1とクレジット会社処理装置3とを1つの一体化した装置として実現することも可能である。以下、クレジット会社処理装置3を使用して業務を行っているクレジット・カード会社を主クレジット会社という。

【0026】金融機関（金融機関の処理装置）4と、提携クレジット会社（提携クレジット会社の処理装置）5とはそれぞれ、専用の通信回線を介して、クレジット会社処理装置3に結合される。この専用の通信回線の例としては、NTTデータ社のCAFISというシステムが使用する通信回線がある。CAFISシステムはこの通信回線を用いて、クレジット会社や金融機関などの金融に関連する会社間で金融関連のデータを通信する。

【0027】提携クレジット会社とは、クレジット業務に関して主クレジット会社と業務提携しているクレジット会社である。この実施形態では、サイトは、サイトにおける決済サービスの申込みの際に、主クレジット会社の発行したクレジット・カードに加えて、提携クレジット会社の発行したクレジット・カードも受け付けるようにしている。金融機関は、クレジット・カードの所有者（カード会員）がクレジット・カードの決済用の口座を開設している銀行等である。

【0028】ユーザ側処理装置6およびユーザ側処理装置7は、それぞれ異なるユーザが用いる処理装置であり、例えば、従来のパーソナル・コンピュータおよび周辺機器等で構成される。ユーザ処理装置6およびユーザ側処理装置7は、それぞれ、サイト側処理装置1と、インターネット等の通信ネットワークを介して情報を通信できるように結合されている。また、ユーザ処理装置6とユーザ側処理装置7とは、インターネット等の通信ネットワークを介して情報を通信できるように結合されている。

【0029】サイト側処理装置1により構成されるサイトは複数のページを含む。ページには、例えば、サイトのホームページ、サイト会員登録の申込用のページ、ユーザがサイトで行った手続等に関する履歴データを表示するページ、クレジット・カードを使用して獲得したポ

イントを、サイトで使用可能なポイントへ変換するためのページ、ネットショッピング用のページ、個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスの申込用のページ、景品とポイントとを交換するためのページ、懸賞応募用のページ、広告や案内などの送先となる人をサイト会員から紹介してもらうためのページ、保険会社やローン会社などの業者が営業活動を行うページなどがある。

【0030】このサイトは、このサイト会員がサイト上で点数制度により定められた所定の行為を行った場合に、そのサイト会員に対して所定のポイントを付与する。点数制度は、例えば、新規にサイト会員登録を行ったユーザに対しては100ポイント、サイトで表示するバナー広告をクリックしてその内容を見たサイト会員には50ポイントというように、各行為毎に付与するポイントを予め定めている。サイトは、各サイト会員の所有するポイント数を管理するために、点数管理装置2に、各サイト会員に対するポイント口座を設けている。サイト会員は獲得したポイントを、このサイトにおいて幾つかの方法で使用することができる。ポイントの獲得方法および使用方法の例については、以下で説明する。

【0031】次に、この装置の動作について説明する。図2ないし図14は、本発明の一実施形態の装置の動作における幾つかの処理のフローチャートである。図2はサイト会員登録の処理のフローチャートであり、図3はユーザがサイトで行った行為に関する履歴の表示の処理のフローチャートであり、図4はクレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換する処理のフローチャートであり、図5ないし図6はネットショッピングの処理のフローチャートであり、図7ないし図10は個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスの処理のフローチャートであり、図11はサイトにおける点数制度に基づくポイントと景品とを交換する処理のフローチャートであり、図12は懸賞を実施する処理のフローチャートであり、図13は広告や案内などの送先となる人をサイト会員から紹介してもらう処理のフローチャートであり、図14は他の会社等が営業活動を行うページにおいてポイントを付与する処理のフローチャートである。

【0032】以下の説明では、上記で例示したページに関連する処理について説明する。

A. サイト会員登録の処理

図2はサイト会員登録の処理のフローチャートを示す。

【0033】図2のステップA1において、ユーザがユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト、即ち、サイト側処理装置1へアクセスすると、サイト側処理装置1の制御部15は、記憶部13からホームページを構成するデータを読み出し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送

る。

【0034】データを受信したユーザ側処理装置6の表示部(図示せず)は、サイトのホームページを表示する。ホームページは、サイト会員として登録するためのサイト会員登録申込用ページ、ユーザがサイトで行った手続等に関する履歴データを表示するページ、クレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換するためのページ、ネットショッピング用のページ、個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスの申込用のページ、景品とポイントとを交換するためのページ、懸賞応募用のページ、会員に広告や案内の送先となる人を紹介してもらうためのページ、保険会社やローン会社などの業者が営業活動を行うページなどのページなどへアクセスするボタン、即ち、これらのページを開くためのボタン、およびサイト会員が会員IDおよびパスワードを入力する欄を含む。

【0035】サイト会員ではないユーザは、サイトにおいて、サイトが定めた所定の行為を行っても、このサイトが実施する点数制度に基づくポイントを得ることができない。また、サイト会員ではないユーザは、このサイトにおいて行える手続が制限され、また、サイトから提供される情報も制限される。

【0036】このユーザはサイト会員ではなく、サイト会員として登録することを希望するものとする。ステップA2において、ユーザは、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページ画面中の、「サイト会員登録申込用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータにตอบสนองして、「サイト会員登録申込用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出してWebサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。

【0037】サイト会員登録申込用ページは、サイト会員登録希望者が登録に必要なデータ(サイト会員登録データ)を入力するための画面(サイト会員登録データ入力画面)を構成する。このサイト会員登録データ入力画面は、サイト会員登録希望者の住所、氏名、電話番号、Eメール・アドレス、希望するID(会員ID)、希望するパスワードなどのデータを入力する欄と、サイト会員登録希望者が決済会員として登録するか又は非決済会員として登録するかを選択して入力するボタンと、決済会員として登録することを希望する場合に、クレジット・カードのカード番号および有効期限を入力する欄とを含む。

【0038】決済会員とは、このサイトにおいて決済を必要とする手続、例えば、ネットショッピングを行える会員であり、非決済会員とは、決済を必要とする手続を行えない会員である。この実施形態においてサイトが提供する決済サービスでは、決済会員は、決済会員が支払

うべき金額の決済を、クレジット・カードを用いて行うように構成している。従って、決済会員登録の希望者は、サイトに、クレジット・カードのカード番号および有効期限を伝える必要がある。また、このサイトにおいて使用可能なクレジット・カードは、サイトが指定したクレジット会社およびそのクレジット会社が提携しているクレジット会社(この実施形態の場合には、主クレジット会社および提携クレジット会社)が発行したクレジット・カードのみである。

10 【0039】サイト会員登録希望者は、サイト会員登録データ入力画面から、住所、氏名、電話番号、Eメール・アドレス、希望するID(会員ID)、希望するパスワードを入力する。

【0040】次に、登録希望者は、決済会員として登録するか又は非決済会員として登録するかを選択する。登録希望者が非決済会員として登録することを希望する場合には、サイト会員登録データ入力画面で表示される「非決済会員としての登録を希望する」のボタンを選択してクリックする。非決済会員としての登録を希望する場合には、ここでサイト会員登録申込のためのデータ入力手順は完了する。

【0041】登録希望者が決済会員として登録することを希望する場合には、サイト会員登録データ入力画面上に表示される「決済会員としての登録を希望する」のボタンを選択してクリックする。次に、サイト会員登録データ入力画面上のクレジット・カードのカード番号および有効期限を入力する欄に、登録希望者が決済に使用可能なクレジット・カードのカード番号および有効期限を入力する。決済会員としての登録を希望する場合には、ここでサイト会員登録申込のためのデータ入力手順が完了する。

【0042】サイト会員登録の申込に必要なデータ(サイト会員登録データ)の入力が完了すると、登録希望者は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたサイト会員登録データ入力画面上で入力したデータを確認し、誤りがあればそれを修正する。誤りがなければ、サイト会員登録データをユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1のWebサーバ11へ送信する。

40 【0043】ユーザ側処理装置6は、サイト会員登録の申込みの結果を示すデータがサイト側処理装置1から送られて来るまで、サイト側処理装置1のWebサーバ11との通信状態を維持する。

【0044】サイト会員登録データを受信したサイト側処理装置1の制御部15は、そのサイト会員登録データを検査する。例えば、必要なデータの全てが入力されていない、使用できない文字が含まれている、というような誤りがサイト会員登録データにあった場合には、サイト会員登録データの再入力を促すメッセージを、Webサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信する。

【0045】サイト会員登録データに誤りがなければ、制御部15は、そのサイト会員登録データを記憶部13へ記憶する。ステップA3において、制御部15は、記憶したサイト会員登録データ中の、登録希望者が決済会員登録を希望するか又は非決済会員登録を希望するかを示すデータを検査する。このデータが、非決済会員登録を希望することを示す場合、ステップA4へ進む。

【0046】ステップA4において、制御部15は、この登録希望者を非決済会員として登録することを決定し、この登録希望者のサイト会員登録データに、非決済会員としてのサイト会員登録を行ったことを示すデータを付加し、記憶部13に記憶する。動作はステップA4からステップA7へ続く。

【0047】他方、ステップA3において、記憶部13へ記憶したサイト会員登録データ中の、登録希望者が決済会員登録を希望するか又は非決済会員登録を希望するかを示すデータが、決済会員登録を希望することを示す場合、ステップA5へ進む。

【0048】ステップA5において、サイト側処理装置1の制御部15は、主クレジット会社へクレジット・カードの与信の判定を依頼するために、サイト会員登録データ中のクレジット・カードのカード番号および有効期限を示すデータを読み出し、入出力部14から、専用の通信回線を介して、クレジット会社処理装置3の入出力部31へ送信する。

【0049】クレジット会社処理装置3の制御部32は、受信したカード番号および有効期限を示すデータに基づいて、記憶部13に記憶されているクレジット・カードに関するデータを検索し、受信したカード番号および有効期限により識別されるクレジット・カード（クレジット・カードを交付された者）に与信があるか否かを判定する。制御部32は、この与信の判定の結果を、入出力部31から専用の通信回線を介してサイト側処理装置1の入出力部14へ送信する。

【0050】また、クレジット会社処理装置3の制御部32が、サイト側処理装置1から受信したカード番号が提携クレジット会社の発行したクレジット・カードのものであると判定した場合には、カード番号および有効期限を示すデータを、入出力部31から専用の通信回線を介して提携クレジット会社5へ送信し、そのクレジット・カードの与信の判定を提携クレジット会社5へ依頼する。クレジット会社処理装置3の制御部32は、与信の判定の結果を提携クレジット会社5から受信し、その与信の判定の結果を、入出力部31から専用の通信回線を介してサイト側処理装置1の入出力部14へ送信する。

【0051】サイト側処理装置1の制御部15は、受信した与信の判定の結果を検査する。与信の判定の結果が、与信がないことを示す場合には、ステップA6へ進む。ステップA6において、制御部15は、この登録希望者を決済会員として登録せず、非決済会員として登録

することを決定する。制御部15は、この登録希望者のサイト会員登録データに、クレジット・カードの与信がないことを示すデータと、非決済会員としてのサイト会員登録を行ったことを示すデータとを付加し、記憶部13に記憶する。動作はステップA6からステップA7へ進む。

【0052】ステップA7において、制御部15は、サイト会員登録データ中の会員IDを読み出し、その会員IDと、このサイトにおいてユーザが行った行為を識別するデータとを、点数管理装置2へ送信する。この場合、ユーザが行った行為を識別するデータは、非決済会員としてのサイト会員登録（非決済会員登録）を行ったことを示すデータである。

【0053】点数管理装置2が会員IDと、非決済会員登録を行ったことを示すデータとを入出力部23で受信すると、制御部22が、受信したデータに基づいて、このユーザのポイント口座を記憶部21に作成する。

【0054】点数管理装置2の記憶部21は、サイト上でサイト会員が行った行為に対して付与するポイントを定めた点数制度の規則を記憶している。この実施形態では、非決済会員登録を行ったユーザに対して所定のポイントを付与することが、点数制度において定められているものとする。

【0055】点数管理装置2の制御部22は、サイト会員が行った行為を識別するデータ（この場合、非決済会員登録を行ったことを示すデータ）に基づいて、記憶部21から、非決済会員登録という行為に対して付与するポイント数を読み出し、そのポイント数を、記憶部21に設けたサイト会員のポイント口座へ入力する。点数管理装置2の制御部22は、サイト会員のポイント口座へのポイントの入力を完了すると、そのサイト会員の会員IDと、ポイント口座にあるポイント残高を示すデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。動作は、ステップA7からステップA8へ続く。

【0056】ステップA8において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員登録希望者が、非決済会員であるサイト会員として登録された旨を示すデータと、このサイト会員に対してポイント口座が作成された旨を示すデータと、ポイント口座のポイント残高を示すデータとを、Webサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信する。

【0057】また、サイト会員登録希望者が、決済会員としての登録を希望していたが、クレジット・カードの与信がないと判定されたため、非決済会員として登録された場合には、「決済会員として登録できないので、非決済会員として登録した」旨を示すデータを、ユーザ側処理装置6へ送信する上記のデータに付加する。

【0058】サイト側処理装置1は、上記のデータをWebサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信した後、サイト会員登録の処理を終了する。ユーザ側処理装置6

は上記のデータを受信し、非決済会員であるサイト会員として登録された旨（および、決済会員登録が拒否された場合には、決済会員として登録できなかった旨）と、ポイント口座が作成された旨と、ポイント口座のポイント残高とを示すデータを表示部で表示する。ユーザは、表示された内容を確認した後に、ユーザが所望する次の動作を開始する。

【0059】他方、ステップA5において、与信の判定の結果が、与信があることを示す場合には、ステップA9へ進む。ステップA9において、制御部15は、この登録希望者を決済会員として登録することを決定する。制御部15は、この登録希望者のサイト会員登録データに、クレジット・カードの与信があることを示すデータと、決済会員としてのサイト会員登録を行ったことを示すデータとを付加し、記憶部13に記憶する。動作はステップA9からステップA10へ進む。

【0060】ステップA10において、制御部15は、サイト会員登録データ中の会員IDを読み出し、その会員IDと、このサイトにおいてユーザが行った行為を識別するデータとを、点数管理装置2へ送信する。この場合、ユーザが行った行為を識別するデータは、決済会員としてのサイト会員登録（決済会員登録）を行ったことを示すデータである。

【0061】点数管理装置2が会員IDと、決済会員登録を行ったことを示すデータとを入出力部23で受信すると、制御部22が、受信したデータに基づいて、このユーザのポイント口座を記憶部21に作成する。

【0062】この実施形態では、点数管理装置2の記憶部21に記憶された点数制度の規則において、決済会員登録を行ったユーザに対して所定のポイントを付与することが定められているものとする。（なお、非決済会員として既に登録されているサイト会員も決済会員登録を行うことが可能であり、その場合の決済会員登録で付与するポイント数は低くする。）

点数管理装置2の制御部22は、サイト会員が行った行為を識別するデータ（この場合、決済会員登録を行ったことを示すデータ）に基づいて、記憶部21から、決済会員登録という行為に対して付与するポイント数を読み出し、そのポイント数を、記憶部21に設けたサイト会員のポイント口座へ入力する。点数管理装置2の制御部22は、サイト会員のポイント口座へのポイントの入力を完了すると、そのサイト会員の会員IDと、ポイント口座にあるポイント残高を示すデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。動作は、ステップA10からステップA11へ続く。

【0063】ステップA11において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員登録希望者が、決済会員であるサイト会員として登録された旨を示すデータと、このサイト会員に対してポイント口座が作成された旨を示すデータと、ポイント口座のポイント残高を示

すデータとを、Webサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信する。サイト側処理装置1は、上記のデータをWebサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信した後、サイト会員登録の処理を終了する。ユーザ側処理装置6は上記のデータを受信し、決済会員であるサイト会員として登録された旨と、ポイント口座が作成された旨と、ポイント口座のポイント残高とを示すデータを表示部で表示する。ユーザは、表示された内容を確認した後に、ユーザが所望する次の動作を開始する。

【0064】以上で、サイトの新規会員登録の処理が終了する。サイト会員が、以降、このサイトへアクセスした時に、ホームページの会員ID入力欄およびサイト会員パスワード入力欄へ、自身の会員IDおよびサイト会員パスワードを入力すると、このサイトが実施する点数制度が適用される。

【0065】サイト会員が、このサイトの別のページで提供されるサービスを受けたい場合には、再びサイトのホームページをユーザ側処理装置6の表示部に表示させ、所望のページを開くためのボタンをクリックする。このクリックにより送られたデータに応答して、サイト側処理装置1は、サイト会員が選択したページを構成するデータを記憶部13から読み出してWebサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。

【0066】B. ユーザがサイトで行った行為に関する履歴の表示の処理

図3はユーザがサイトで行った行為に関する履歴の表示の処理のフローチャートを示す。

【0067】図3のステップB1において、ユーザがユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト、即ち、サイト側処理装置1へアクセスする。サイト側処理装置1は、このアクセスに応答して、ホームページを構成するデータをユーザ側処理装置6へ送信する。このデータを受信したユーザ側処理装置6はホームページを表示部で表示する。ホームページには、ユーザがサイトで行った手続等に関する履歴データを表示するページを開くためのボタンが表示されている。このユーザは既にサイト会員として登録しているものとする。

【0068】サイト会員は、ホームページの会員IDおよびパスワードを入力する欄から、自身の会員IDおよびパスワードを入力すると、これらのデータは、通信ネットワークを介してサイト側処理装置1のWebサーバ11へ送信される。サイト側処理装置1は、受信した会員IDおよびパスワードに応答して、履歴データを表示するページ（履歴画面）を開くためのボタンを使用可能にする。サイト会員は、ユーザ側処理装置6で表示されたホームページ画面から、履歴画面を表示させるためのボタンをクリックする。

【0069】ステップB2において、サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した履

履歴画面の表示を指示するデータ（ボタンのクリックにより送られる）、会員IDおよびパスワードに基づいて、記憶部15に記憶されているこのサイト会員の決済履歴データを読み出す。

【0070】決済履歴データは、決済会員がこのサイトにおいてクレジット・カードを決済に使用した日時、決済で支払った金額、その金額の支払先、購買した商品の名前などのデータを含む。この決済履歴データは、決済会員がこのサイトにおいてクレジット・カードを決済に使用した時に、その決済会員の会員IDと関連付けて記憶部13に記憶される。サイト会員が非決済会員の場合には、記憶部15に決済履歴データは記憶されない。

【0071】ステップB3において、サイト側処理装置1の制御部15は、会員IDと、点数履歴データをサイト側処理装置1へ送信することを指示するデータとを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2が入出力部23で、会員IDと、点数履歴データの送信を指示するデータとを受信すると、制御部22は、受信した会員IDにより識別されるポイント口座に関する点数履歴データを記憶部21から読み出し、入出力部23からサイト側処理装置1の入出力部14へ送る。

【0072】点数履歴データは、サイト会員がポイント口座にあるポイント数を増加又は減少させる行為を行った日時を示すデータ、ポイントを増加又は減少させた行為を識別するデータ（サイトにおいてサイト会員が行った行為を識別するデータ）、増加又は減少したポイント数を示すデータなどを含む。点数履歴データは、ポイント口座にあるポイント数を増加又は減少させる処理を行ったときに、そのサイト会員の会員ID、即ち、ポイント口座と関連付けて記憶部21に記憶される。

【0073】ポイント口座のポイント数を増加させる行為には、例えば、サイト会員として登録する行為（上記Aを参照）、バナー広告をクリックしてその内容を見る行為などがあり、ポイントを減少させる行為には、例えば、ポイントを景品に交換する行為などがある。

【0074】ステップB4において、サイト側処理装置1の制御部15は、ステップB2で記憶部13から読み出した決済履歴データと、ステップB3において点数管理装置2から受信した点数履歴データとに基づいて、このサイト会員の履歴データを示す履歴画面を構成するデータを作成し、Webサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信する。履歴画面は、サイト会員が決済会員の場合には、決済履歴データと点数履歴データとを表示し、サイト会員が非決済会員の場合には、点数履歴データのみを表示する。

【0075】以上で、ユーザがサイトで行った手続等に関する履歴の表示の処理が終了する。サイト会員が、このサイトの別のページで提供されるサービスを受けたい場合には、再びサイトのホームページへ戻る。

【0076】C. クレジット・カードを使用して獲得し

たポイントを、サイトで使用可能なポイントへ変換する処理

本発明の1つの特徴は、サイトと提携しているクレジット会社（この実施形態では、主クレジット会社）が発行したクレジット・カードを所有する者（カード所有者）がサイト会員である場合には、カード所有者がクレジット・カードを用いて決済を行った際にクレジット会社からカード所有者に付与されるポイント（クレジット会社で定めた点数制度に基づくポイントであり、サイトで定めた点数制度に基づくポイントとは異なる）を、サイトで定めた点数制度に基づくポイントに置換することを可能とする。この置換処理により、クレジット会社の点数制度に基づくポイントをサイトにおいて使用できるようにする。

【0077】この実施形態において、クレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換するサービス（ポイント変換サービス）を受けられるのは、決済用のクレジット・カードとして主クレジット会社が発行したクレジット・カードを登録した決済会員のみである。提携クレジット会社（主クレジット会社と提携しているクレジット会社）が発行したクレジット・カードを決済用のクレジット・カードとして登録した決済会員と、非決済会員とは、ポイント変換サービスを受けられないものとする。

【0078】図4はクレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換する処理のフローチャートを示す。図4のステップC1において、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。

【0079】次に、サイト会員は、ホームページ中の「クレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換するためのページ（ポイント変換用ページ）」を開くためのボタンをクリックする。

【0080】ステップC2において、サイト側処理装置1は、このサイト会員が、ポイント変換サービスをうけられる会員か否かを判断する。サイト側処理装置1は、ユーザ側処理装置6から送られてきた会員IDおよびパスワードに基づいて、記憶部13に記憶されているサイト会員登録データを読み出す。

【0081】このサイト会員登録データに、このサイト会員が非決済会員であることを示すデータが含まれている場合、又はこのサイト会員が決済会員であることを示すデータが含まれているが、カード番号が提携クレジット会社のクレジット・カードのカード番号である場合には、制御部15は、この会員がポイント変換サービスを受けられないサイト会員であると判断し、ステップC3へ進む。

【0082】ステップC3において、サイト側処理装置

1の制御部15は、このサイト会員がポイント変換サービスを受けられない旨を示すデータを作成し、Webサーバ11からユーザ側処理装置6へ送信し、ポイント変換の受け付けの処理を終了する。ユーザ側処理装置6は、表示部で、サイト会員がポイント変換サービスを受けられない旨を示すメッセージを表示する。

【0083】他方、ステップC2において、サイト会員登録データに、このサイト会員が決済会員であることを示すデータが含まれており、且つカード番号が主クレジット会社のクレジット・カードのカード番号である場合には、制御部15は、この会員がポイント変換サービスを受けられるサイト会員であると判断し、ステップC4へ進む。

【0084】ステップC4において、サイト側処理装置1の制御部15は、クレジット会社処理装置3へ、カード番号を示すデータと、主クレジット会社が記録しているポイント残高を示すデータをサイト側処理装置1へ送ることを指示するデータとを、入出力部14からクレジット会社処理装置3の入出力部31へ送信する。

【0085】主クレジット会社が記録しているポイント残高とは、主クレジット会社の点数制度に基づいて主クレジット会社がクレジット・カード所有者へ付与したポイント数のうち、現在残っているポイント数である。このポイント数を示すデータは、カード番号と関連付けて記憶部33に記憶されている。

【0086】クレジット会社処理装置3の制御部32は、サイト側処理装置1から受信したデータに基づいて、記憶部33からポイント残高を読み出し、入出力部31からサイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1は、ポイント残高（クレジット会社ポイント残高）データを受信し、このサイト会員の会員IDに関連付けて記憶する。

【0087】ステップC5において、サイト側処理装置1の制御部15は、会員IDデータと、ポイント残高データをサイト側処理装置1へ送信することを指示するデータとを、点数管理装置2へ送信する。これらのデータを受信した点数管理装置2の制御部22は、受信した会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高データを記憶部21から読み出し、入出力部23からサイト側処理装置1の入出力部14へ送る。サイト側処理装置1は、ポイント残高（サイト・ポイント残高）データを受信し会員IDと関連付けて記憶する。

【0088】ステップC6において、サイト側処理装置1の制御部15は、ステップC4およびC5で得たデータおよび記憶部13に記憶しているデータに基づいて、「ポイント変換申込用ページ」を構成するデータを作成する。作成されたポイント変換申込用ページは、このサイト会員に関しての、クレジット会社ポイント残高と、サイト・ポイント残高と、主クレジット会社のポイント

と、変換を希望するポイント数を入力する欄とを含む。

【0089】ポイントの変換率に関しては、例えば、サイトの1ポイントが現金の1円に相当する価値を有し、主クレジット会社の1ポイントが現金の0.1円に相当する価値を有する場合には、ポイントの変換率は1/10となる。また、例えば、現金に換算した時に1円以下となるようなポイント数に関しては変換を行わないようにする。上記の例の場合には、主クレジット会社の10ポイント未満のポイントは変換を行わないようにし、サイト会員による変換の申込みは10ポイント単位とする。

【0090】サイト側処理装置1は、「ポイント変換申込用ページ」を構成するデータを、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ステップC7において、ユーザ側処理装置6は、「ポイント変換申込用ページ」を構成するデータを受信し、表示部にポイント変換申込用ページを表示する。サイト会員は、表示された主クレジット会社のポイント残高と、サイトのポイント残高と、ポイントの変換率とを確認し、主クレジット会社のポイント残高のうちの変換を希望するポイント数（変換希望ポイント数）を、表示された画面から入力する。変換希望ポイント数を示すデータは、ユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1のWebサーバ11で受信される。

【0091】ステップC8において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員のカード番号と、変換希望ポイント数とを示すデータをクレジット会社処理装置3へ送る。クレジット会社処理装置3の制御部32は、カード番号に基づいて、記憶部33から、このカード番号に関連付けて記憶しているポイント残高を読み出す。制御部32は、読み出したポイント残高から変換希望ポイント数により示されるポイント数を減算してポイント残高を更新し、その更新したポイント残高を記憶部33へ記憶する。クレジット会社処理装置3の制御部32は、ポイント残高の更新を完了すると、更新完了を示すデータをサイト側処理装置1へ送信する。

【0092】サイト側処理装置1の制御部15は、ポイント残高の更新完了を示すデータをクレジット会社処理装置3から受信すると、変換希望ポイント数で示される主クレジット会社のポイント数を、サイトのポイントへ変換する。次に、制御部15は、このサイト会員の会員IDを示すデータと、変換後のポイント数を示すデータと、このポイント数をこのサイト会員のポイント口座へ加算することを指示するデータと、ポイントを増加させる行為を識別するデータ（この場合は、ポイント変換を行ったことを示す）とを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信したデータに回答して、記憶部21から、会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高を読み出し、そのポイント残高

へ、ポイント数を示すデータにより示されるポイントを加算し、ポイント残高を更新する。また、制御部22は、点数履歴データとして、ポイントを増加した日時を示すデータ、ポイントを増加させた行為を識別するデータ、増加したポイント数を示すデータなどを含むデータを、ポイント口座と関連付けて記憶する。

【0093】点数管理装置2の制御部22は、ポイント残高の更新を完了すると、更新完了を示すデータを、サイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1の制御部15は、更新完了を示すデータを受信すると、ポイント交換の手続が完了した旨を示すデータと、ポイント交換の手続完了後の主クレジット会社のポイント残高およびサイトのポイント残高を示すデータとを、ユーザ側処理装置6へ送信する。

【0094】なお、ポイント交換の手続が短時間で終了できる構成の場合には、手続が完了するまで、ユーザ側処理装置6とサイト側処理装置1との通信状態を保持するようにし、手続完了時に、サイト側処理装置1が、ポイント交換の手続が完了した旨を示すデータと、手続完了後のポイント数を示すデータとを、Webサーバ11を介してユーザ側処理装置6へ送信するように構成する。しかし、ポイント交換の手続に比較的時間を要する構成の場合には、ユーザがユーザ側処理装置6でポイント交換の申込みを行った後に、ユーザ側処理装置6とサイト側処理装置1との通信状態を解除し、手続完了時に、サイト側処理装置1が、ポイント交換の手続が完了した旨を示すデータと、手続完了後のポイント数を示すデータを含むEメールを作成し、そのEメールをメール・サーバ12を介してユーザ側処理装置6へ送信するように構成する。

【0095】ステップC9において、クレジット会社処理装置3の制御部32は、交換希望ポイント数により示されるポイント数に相当する対価をサイト側へ付与する手続を行い、サイトは、交換希望ポイント数により示されるポイント数に相当する対価を、主クレジット会社から受取る。

【0096】主クレジット会社では、交換希望ポイント数で示されるポイント数が、クレジット・カードが交付された者によって使用されたことになる。即ち、主クレジット会社には、付与したポイント数（ポイント残高）の対価として金（かね）を保存している財源があるが、交換希望ポイント数で示されるポイント数に相当する金額がこの財源から使用されたことになる。

【0097】この実施形態では、ポイントの対価として金を用いるものとする。主クレジット会社は、サイト用に金融機関4に設けている引落としおよび振込みが可能な口座の口座番号を、クレジット会社処理装置3の記憶部33に予め記憶している。制御部32は、ポイント数に相当する金額を示すデータと、その金額を引落とす口座番号、即ち、主クレジット会社が金融機関に設けている口

座の口座番号を示すデータと、その金額を振込む口座番号、即ち、サイト用の口座番号を示すデータとを、専用の通信回線を介して金融機関4へ送信する。

【0098】金融機関4は、クレジット会社処理装置3から受信したデータに基づいて、主クレジット会社の口座からポイント数に相当する金額を引落とし、その金額をサイト用の口座へ振込む。即ち、変換希望ポイント数により示されるポイント数に相当する金額を、主クレジット会社のポイント用の財源から、サイトのポイント用の財源へ移す。金融機関4は、引落としおよび振込みの処理が完了後、完了した旨の通知を主クレジット会社およびサイトへ送信する。

【0099】以上で、ポイント変換サービスの処理を完了する。

D. ネットショッピングの処理

本発明の1つの特徴は、サイト会員がサイトにおいて商品を購入したときに、サイト会員が保有しているポイントで、商品の代金の一部又は全部の代りに使用することができることである。この例では、サイト自体が商品を販売するものとする。

【0100】図5ないし図6はネットショッピングの処理のフローチャートを示す。図5のフローチャートは図6のフローチャートへ続く。図5のステップD1において、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。

【0101】次に、サイト会員は、ホームページ中の「ネットショッピング用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータにตอบสนองして、「ネットショッピング用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ユーザ側処理装置6は、受信したデータに基づいて、ネットショッピング用ページを表示部に表示する。なお、非決済会員として登録されたサイト会員であっても、ネットショッピング用ページを開いて見ることはできるが、商品を購入する手続は行えない。

【0102】ネットショッピング用ページの画面は、販売する商品の画像、商品の名称、商品の価格、商品を選択する商品番号などを表示する部分と、サイト会員が商品の購買を希望する場合に、会員ID、パスワード、商品番号、および商品の個数を入力する欄を含む。

【0103】決済会員として登録されているサイト会員は、ネットショッピング用ページに購買したい商品が出品されている場合に、会員ID、パスワード、商品番号、および商品の個数を、ネットショッピング用ページの画面を介して入力する。

【0104】ステップD2において、サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置6から送信されて

きたデータ(会員ID、パスワード、商品番号、商品の個数)に回答して、購買申込フォームを作成する処理を開始する。購買申込フォームは、サイト会員が購買を希望する商品の「商品番号」、「商品の個数」、「サイト会員が支払う金額」、「サイト会員のポイント残高」、「ポイントの価値(例えば、「1ポイント=1円に相当」というような表示)」などを表示する欄と、「商品の配送先の住所」、「配送先で商品を受取る者の氏名」、「運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号」などの商品の配送に関連するデータを入力する欄と、「支払いにポイントを使用するか否か」を選択して入力する欄と、ポイントを使用する場合に「使用するポイント数」を入力する欄と、「クレジット・カードでの支払方法(一括払い、分割払い、リボ払い)」を選択して入力する欄を含む。

【0105】購買申込フォームを作成するために、まず、制御部15は、会員IDと、ポイント残高データをサイト側処理装置1へ送信することを指示するデータとを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信した会員IDに基づいてポイント残高データを記憶部21から読み出し、サイト側処理装置1へ送る。サイト側処理装置1の制御部15は、ポイント残高データを受信し、それを購買申込フォームへ挿入する。

【0106】次に、制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した商品番号を示すデータに基づいて、記憶部13内に設けられている商品用のデータ・ファイルへアクセスしてその商品の金額を読み出し、その読み出した金額と、商品の個数を示すデータとに基づいて、サイト会員が支払う金額を計算する。制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した商品の商品番号および個数と、制御部15が計算した金額とを、購買申込フォームへ挿入する。

【0107】また、一般に、サイト会員のサイト会員登録データに記録された住所、氏名、電話番号が、商品の配送先の住所、配送先で商品を受取る者の氏名、運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号となる場合が多い。従って、便宜を図るために、制御部15は、記憶部13に記録されたサイト会員登録データから、使用でき得るデータ(サイト会員の住所、氏名、電話番号など)を読み出し、それらのデータを、商品の配送に関連するデータを入力する欄に挿入する。

【0108】サイト側処理装置1は、作成した購買申込フォームをユーザ側処理装置6へ送信する。ステップD3において、ユーザ側処理装置6は、サイト側処理装置1から受信した購買申込フォームを表示部で表示する。

【0109】サイト会員は、サイト側処理装置1で購買申込フォームに予め入力されている配送に関連するデータを検査し、予め入力されているデータが適切でない場合には修正する。例えば、購買申込フォームの「商品の

配送先の住所」の部分に予め入力されている配送先の住所が、サイト会員が希望する商品の配送先の住所と異なる場合、その部分を所望の配送先の住所に修正する。

【0110】次に、サイト会員は、購買申込フォームの入力を必要とする欄へのデータ入力を行う。サイト会員は、「支払いにポイントを使用するか否か」を選択して入力する欄から、支払いにポイントを使用するか否かを示すデータを入力する。支払いにポイントを使用する場合には、「使用するポイント数」を入力する欄に、使用するポイント数を入力する。ポイントを使用しないことを示すデータを入力した場合には、「使用するポイント数」を入力する欄には入力を行わない。「クレジット・カードでの支払方法(一括払い、分割払い、リボ払い)」を選択して入力する欄では、希望する支払方法を選択して入力する。

【0111】購買申込フォームへの入力が完了すると、サイト会員は、データが入力された購買申込フォームを、ユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1は、この購買申込フォームをWebサーバ11で受信して記憶部15へ記憶する。

【0112】ステップD4において、制御部15は、サイト会員がクレジット・カードを用いて支払う金額(クレジット支払金額)を計算する。制御部15は、受信した購買申込フォーム中の、支払いにポイントを使用するか否かを示すデータを検査する。ポイントを使用しないことを示すデータが含まれていた場合、クレジット支払金額は、上記のステップD2で計算した「サイト会員が支払う金額(商品の金額×個数)」である。

【0113】受信した購買申込フォーム中に、ポイントを使用することを示すデータが含まれていた場合、クレジット支払金額は、以下の計算により求める。まず、制御部15は、購買申込フォームから「使用するポイント数」を読み出す。次に、そのポイント数に、「ポイントの価値」で示された金額(例えば、1ポイント=1円)を乗算し、使用するポイント数に相当する金額を計算する。次に、上記のステップD2で計算した「サイト会員が支払う金額(商品の金額×個数)」から、「使用するポイント数」に相当する金額を減算する。この金額が、クレジット支払金額である。

【0114】ステップD5において、クレジット支払金額が0円か否かを検査する。0円の場合にはステップD11へ進み、0円ではない場合はステップD6へ進む。ステップD6において、サイト側処理装置1の制御部15は、主クレジット会社へクレジット・カードの与信の判定を依頼する。

【0115】制御部15は、与信の判定に必要なデータを作成する。このデータは、クレジット・カードのカード番号および有効期限、およびクレジット支払金額を含む。制御部15は記憶部13から、会員IDおよびパス

10

20

30

40

50

ワードに基づいて識別されるサイト会員登録データ中のクレジット・カードのカード番号および有効期限を示すデータを読み出し、ステップD4で計算したクレジット支払金額と共に、入出力部14から、専用の通信回線を介して、クレジット会社処理装置3の入出力部31へ送信する。

【0116】クレジット会社処理装置3の制御部32は、受信したカード番号、有効期限およびクレジット支払金額を示すデータに基づいて、記憶部13に記憶されているクレジット・カードに関するデータを検索し、受信したカード番号および有効期限により識別されるクレジット・カードに与信があるか否かを判定する。クレジット会社処理装置3は与信の判定において、例えば、このクレジット・カードの有効期限が残っているか否か、クレジット支払金額を支払った場合にこのクレジット・カードの使用限度額を越えるか否かなどについて検査する。制御部32は、この与信の判定の結果を、入出力部31から専用の通信回線を介してサイト側処理装置1の入出力部14へ送信する。

【0117】また、クレジット会社処理装置3の制御部32が、サイト側処理装置1から受信したカード番号が提携クレジット会社のクレジット・カードのものであると判定した場合には、カード番号、有効期限およびクレジット支払金額データを提携クレジット会社5へ送信し、そのクレジット・カードの与信の判定を提携クレジット会社5へ依頼する。提携クレジット会社5は与信の判定の結果をクレジット会社処理装置3へ送信し、クレジット会社処理装置3は、受信した与信の判定の結果をサイト側処理装置1へ送信する。

【0118】ステップD7において、サイト側処理装置1の制御部15は、受信した与信の判定の結果を検査する。与信の判定の結果が、与信がないことを示す場合には、ステップD8へ進む。

【0119】ステップD8において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員が行ったネットショッピングの申込みが拒否された旨のデータを作成し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送信する。このデータの送信後、制御部15は、ネットショッピングの申込みに関する処理を終了する。

【0120】他方、ステップD7において、与信の判定の結果が、与信があることを示す場合には、ステップD9へ進む。ステップD9において、クレジット会社処理装置3の制御部32は、サイト会員が、カード番号により識別されるクレジット・カードを用いて、クレジット支払金額データで示される金額をサイト側へ支払うことを決定したものと断定する。制御部32は、そのカード番号とクレジット支払金額とを記憶部33に記憶し、クレジット支払金額を買手が金融機関4に開設しているクレジット・カード用の口座（記憶部33に予め記憶して

いる）から所定の期日に引落してサイト側の口座へ降り込むための準備を行う。動作は、図5のステップD9から図6のステップD10へ続く。

【0121】図6のステップD10において、サイト側処理装置1の制御部15は、サイト会員がポイントを使用するか否かを、購買申込フォームに記録されたデータに基づいて判定する。購買申込フォームに、ポイントを使用することを示すデータが含まれていた場合にはステップD11へ進み、ポイントを使用しないことを示すデータが含まれていた場合にはステップD12へ進む。

【0122】ステップD11において、制御部15は、このサイト会員の会員IDを示すデータと、使用するポイント数を示すデータと、ポイントを減少させる行為を識別するデータ（この場合、ネットショッピングの支払いに使用したことを示す）とを、点数管理装置2へ送信する。

【0123】点数管理装置2の制御部22は、受信したデータに回答して、記憶部21から、会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高を読み出し、そのポイント残高から、使用するポイント数を示すデータにより示されるポイントを減算し、ポイント残高を更新する。また、制御部22は、点数履歴データとして、ポイントを減少した日時を示すデータ、ポイントを減少させた行為を識別するデータ、減少したポイント数を示すデータなどを含むデータを、ポイント口座と関連付けて記憶する。

【0124】サイトでは、付与したポイント数（ポイント残高）の対価として金（かね）を保存している財源があるが、サイト会員が代金をポイントで支払うということは、このサイト会員が使用したポイント数に相当する金額がこの財源から使用されたことになる。サイトは、帳簿上において、サイト会員が使用したポイント数に相当する金額を、ポイント用の財源に関する項目から、商品の販売に関する項目へ移す処理を行う。その後、動作はステップD12へ続く。

【0125】ステップD12において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員が行ったネットショッピングの申込みが受付られたことを示すデータを作成し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送信する。このデータは、申込みが受付られたことを示すデータに加えて、サイト会員が購買した商品を識別するデータ（商品名、商品番号など）、商品の個数、商品の金額などを示すデータを含む。

【0126】また、サイト会員がポイントを使用した場合には、ネットショッピングの申込みが受付られたことを示すデータに、ポイント残高と、クレジット・カードで支払う金額、即ち、ステップD2で計算した「サイト会員が支払う金額（商品の金額×個数）」から、「使用するポイント数」に相当する金額を減算した金額とを示

すデータを含ませる。

【0127】ユーザ側処理装置6の表示部は、サイト側処理装置1から受信した、ネットショッピングの申込みが受付られたことを示すデータを表示する。サイト側処理装置1の制御部15は、サイト会員から受信して記憶部13に記憶していた購買申込フォームに含まれていたデータ中の、商品の配送先の住所、配送先で商品を受取る者の氏名、および運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号のデータを読み出し、このデータを運送業者へ送信して商品の配送を依頼する。

【0128】クレジット支払金額が0円の場合には、ここでネットショッピングの処理は終了する。しかし、クレジット支払金額が0円以外の場合には、クレジット会社処理装置3の制御部32は、所定の支払期日が来たときに、上記ステップD9において記憶したカード番号およびクレジット支払金額に基づいて決済の処理を行う。制御部32は、クレジット支払金額を示すデータと、クレジット支払金額を引落す口座の口座番号データ（カード番号と関連付けて記憶部33に予め記憶している買手の口座）と、クレジット支払金額を振込む口座（サイト側の口座）の口座番号データとを、専用の通信回線を介して金融機関4へ送信する。金融機関4はこのデータに基づいて、クレジット支払金額を、買手の口座から引落とし、サイト用の口座へ振込む。

【0129】また、クレジット支払金額が0円以外の場合において、クレジット・カードのカード番号が、提携クレジット会社が発行したクレジット・カードのカード番号である場合、クレジット会社処理装置3は、従来通りの、クレジット・カードによる決済の手続を代行する処理を行う。即ち、主クレジット会社は、提携クレジット会社がサイト側へ支払うべき金額（クレジット支払金額）を、立替えておく。後日に、主クレジット会社は、その立替えたクレジット支払金額を提携クレジット会社5へ請求する。提携クレジット会社5は、主クレジット会社が立替えておいたクレジット支払金額を、提携クレジット会社が金融機関に設けている口座から、主クレジット会社が金融機関に設けている口座へ振込む。提携クレジット会社5は、所定の期日にクレジット支払金額をサイト会員へ請求する。

【0130】以上で、ネットショッピングの処理は終了する。

E. 個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスの処理

このサイトは、個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスを提供するページを備える。この実施形態では、このサイトは主クレジット会社により運営されるサイトであり、この代行サービスは、主クレジット会社が実施するサービスであるものとする。

【0131】通常の個人と個人との間での商取引では、

売手と買手とが直接に金および商品の授受を行うが、そのような取引では、売手および買手の双方ともにリスクがある。例えば、買手が金を支払ったにもかかわらず売手から商品が送られてこないという問題や、売手が商品を送ったが買手が金を支払わないという問題などが起きる可能性がある。そこで、この代行サービスでは、売手が確実に商品の代金を受取り、且つ買手が確実に商品を受取れるようにするために、サイト側が売手へ商品の代金を支払う手続と、サイト側が買手から商品の代金を受取る手続と、サイト側が商品を売手から集荷して買手へ配送する手続とを行う。

【0132】この実施形態において、サイトは、売手への代金の支払いを、売手が金融機関に設けている口座への振込みにより行うが、そのためには、サイトは、売手の口座の口座番号を知る必要がある。売手がこのサイトの決済会員であり、サイト会員登録データに含まれるカード番号が、主クレジット会社のクレジット・カードのものである場合、サイトは、売手がそのクレジット・カードの決済用に金融機関に設けている口座の口座番号を知ることができる。（カード番号が、提携クレジット会社のクレジット・カードのものである場合、サイトは、売手がそのクレジット・カードの決済用に金融機関に設けている口座の口座番号を知ることができない。）クレジット・カードの決済用に金融機関に設けている口座は、代金の振込用の口座として用いることができる。従って、売手が代行サービスを受けるためには、売手がこのサイトの決済会員であり、且つサイト会員登録データに主クレジット会社のクレジット・カードのカード番号が含まれていることを必要とする。

【0133】買手は、売手から購買する商品の代金を、ネットショッピングの場合と同様に、クレジット・カードを用いてサイト側へ支払うようにする。従って、買手は、このサイトの決済会員である必要がある。しかし、買手の場合は、サイト会員登録データに含まれるカード番号が、主クレジット会社のものであっても、提携クレジット会社のクレジット・カードのものであってもよい。

【0134】この実施形態では、通信ネットワーク上に開設されたオークションを開催するサイト（オークション・サイト）において、商品の落札金額と落札者とが決定された後の、出品者（売手）と落札者（買手）との間での決済および商品の配送の手続を代行する場合を例として説明する。

【0135】この実施形態の代行サービスの処理の手順では、まず、売手が代行サービスの申込みに必要なデータを入力し、次に、買手が代行サービスに必要なデータを入力し、その次に、サイトが、売手と買手から入力されたデータを基にして代行サービスの申込みを受理するか否かを決定する。

【0136】売手はユーザ側処理装置6を用い、買手は

ユーザ側処理装置7を用いるものとする。図7ないし図10は個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスの処理のフローチャートを示す。図7は図8へ続き、図8は図9へ続き、図9は図10へ続く。

【0137】この実施形態の代行サービスの処理では、まず、売手が代行サービスの申込みに必要なデータを入力する必要があるため、図7のステップE1において、売手であるサイト会員が、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。

【0138】売手であるサイト会員は、ホームページ中の「決済および配送の代行サービス用ページ（代行サービス用ページ）」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータに回答して、「代行サービス用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ユーザ側処理装置6は、受信したデータに基づいて、代行サービス用ページを表示部に表示する。なお、非決済会員として登録されたサイト会員であっても、代行サービス用ページを開いて見ることはできるが、代行サービスを依頼する手続は行えない。

【0139】代行サービス用ページの初期画面は、このサイト会員が売手であるか買手であるかを会員に入力させるためのボタン（売手ボタン、買手ボタン）を表示する。このサイト会員は売手であるため、売手ボタンをクリックする。このクリックによりユーザ側処理装置6からサイト側処理装置1へ送信されたデータに回答して、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員のサイト会員登録データを検査し、このサイト会員が決済会員であるか非決済会員であるかを調べる。非決済会員である場合には、制御部15は、代行サービスを受けられない旨を示すデータをユーザ側処理装置6へ送信する。

【0140】決済会員である場合には、サイト会員登録データ中のカード番号に対応するクレジット・カードが主クレジット会社のクレジット・カードのカード番号か否かを調べる。カード番号が、提携クレジット会社のクレジット・カードのカード番号である場合、制御部15は、代行サービスを受けられない旨を示すデータをユーザ側処理装置6へ送信する。

【0141】カード番号が、主クレジット会社のクレジット・カードのカード番号である場合、制御部15は、売手が取引に関するデータを入力するための画面（取引データ入力画面）を構成するデータを記憶部13から読み出してユーザ側処理装置6へ送信する。ユーザ側処理装置6の表示部は取引データ入力画面を表示する。

【0142】取引データ入力画面は、「商品を出品した

オークション・サイトの名前」、「オークション・サイトで付与された商品番号」、「商品名」、「出品者名（そのオークション・サイトで用いた売手のユーザ名（ニックネーム）」、「落札金額」、「サービス手数料の支払方法」、「代金の受取り方法」などを含むデータ（取引データ）を入力する欄を含む。

【0143】サービス手数料とは、サイトが行うこの代行サービスに対しての料金であり、「サービス手数料の支払方法」を入力する欄には、代行サービスの手数料をサイトへ売手が支払うか又は買手が支払うかを選択し、入力する。サービス手数料には商品の配送サービス料も含まれる。この実施形態における配送サービスでは、サイトが指定した運送業者が、売手が指定した場所へ商品を集荷に行き、買手が指定した送先へ商品を配達する。

【0144】「代金の受取り方法」を入力する欄には、売手が代金を現金振込みで受取るか又はこのサイトの点数制度に基づくポイントで受取るかを選択して入力する。この実施形態では、売手は、全額をポイントで受取るか又は現金振込みで受取るかの何れかを選択できるものとする。

【0145】サービス手数料は、商品を梱包した時の箱のサイズが規定内である場合には、「落札金額」、「商品の集荷先が属する地域」および「商品の配送先が属する地域」に基づいて決定される。「地域」は、例えば、1つの県を1つの地域として区分したものである。サービス手数料は、例えば、「落札金額」が「10000円」、「商品の集荷先が属する地域」が「東京都」、「商品の配送先が属する地域」が「大阪府」というような条件に基づいて決定される。また、箱のサイズが規定外である場合には、その箱のサイズに基づく料金が別途に計算され加算される。

【0146】売手が取引データを入力した時点では、発送先が未定である（発送先は以下のステップで買手により入力される）ので、サービス手数料を計算することができない。しかし、売手（または買手）がサイトの代行サービス用ページにアクセスしたときにサービス手数料を知ることができるように、例えば、初期画面から、サービス手数料を示すページにアクセスできるようにしておく。このページはサービス手数料を、「箱のサイズ」、「落札金額」、「商品の集荷先が属する地域」および「商品の配送先が属する地域」の4つの条件に基づいて表形式で示すものである。売手は、箱のサイズ、落札金額、および集荷先の地域は分かるので、例えば、発送先の地域を最も近い地域と想定する（例えば、集荷先が「東京都」の場合には、発送先を「沖縄県」と想定することにより、本件に対するサービス手数料の最高料金を知ることができ、また、例えば、発送先を最も近い県と想定する（例えば、集荷先が「東京都」の場合には、発送先を「神奈川県」と想定することにより、本件に対するサービス手数料の最低料金を知ることができ

10

20

30

40

50

る。このような方法により、売手は、おおまかではあるが、どの程度のサービス手数料がかかるかを知ることができる。なお、箱のサイズ、落札金額、集荷先、および発送先が完全に知られている場合には、この表を用いて正確なサービス手数料を知ることができる。

【0147】売手がユーザ側処理装置6から取引データ入力画面を介して取引データを入力すると、サイト側処理装置1はその取引データをWebサーバ11で受信して記憶部13に記憶する。

【0148】次に、制御部15は、商品の集荷に必要なデータの入力用画面（集荷データ入力画面）を構成するためのデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11を介してユーザ側処理装置6へ送信する。集荷データ入力画面は、「商品の集荷先の住所」、「集荷先で商品を引渡す者の氏名」、「運送業者から集荷に関する連絡が可能な電話番号」、「商品を梱包した時の箱のサイズ」、「オークション・コードの送先となるEメール・アドレス」などを含むデータ（集荷データ）を入力する欄を含む。

【0149】オークション・コードとは、本件の代行サービス（即ち、売手と買手との間のこの商取引）を識別するデータであり、この実施形態では、取引される商品がオークションに出品された商品であるので、この代行サービスを識別するデータを「オークション・コード」と名付けた。オークション・コードは、例えば、アルファベットや数字の組み合わせで構成される。

【0150】商品を梱包した時の箱のサイズを示すデータは、箱のサイズが予め定めた規定内か規定外かを示すデータを含む。箱のサイズが規定外である場合には、その箱のサイズ（例えば、縦、横、高さの寸法）を示すデータを含ませる。

【0151】また、一般に、個人と個人との間での取引では、売手のサイト会員登録データに記録された住所、氏名、電話番号、Eメール・アドレスが、商品の集荷先の住所、集荷先で商品を引渡す者の氏名、運送業者から集荷に関する連絡が可能な電話番号、オークション・コードの送先のEメール・アドレスとなる場合が多い。従って、便宜を図るために、制御部15は、記憶部13に記録された売手のサイト会員登録データから、集荷データとして使用できるデータ（売手の住所、氏名、電話番号、Eメール・アドレス）を読み出し、それらのデータを集荷データ入力画面に挿入した状態でユーザ側処理装置6へ送信する。売手は、集荷データ入力画面に予め挿入されたデータが適切である場合には、適切である旨を示すデータをユーザ側処理装置6からサイト側処理装置1へ送信する。しかし、集荷データ入力画面に予め挿入されたデータにより示される集荷先と、売手が望む集荷先とが異なる場合には、売手は、予め挿入されていた住所、氏名、電話番号、Eメール・アドレスのうちの異なっている部分を修正し、修正した集荷データをサイト

側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1は集荷データを受け取って記憶部13へ記憶する。

【0152】次に、サイト側処理装置1の制御部15は、記憶部13に記憶された取引データ、集荷データ、サイト会員登録データに基づいて、「取引の内容」、「商品の集荷先」、「集荷および配送の依頼主」を確認するための画面（登録内容確認画面）を作成する。

【0153】登録内容確認画面中の「集荷および配送の依頼主」の部分に表示される依頼主の住所、氏名、電話番号等のデータは、売手のサイト会員登録データから読み出されたものである。

【0154】サイト側処理装置1は登録内容確認画面をユーザ側処理装置6へ送り、売手は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示された登録内容確認画面の内容を検査する。内容に誤りがあった場合には、その誤りの部分を入力した段階まで戻って、その段階から再入力を行う。誤りがなければ、内容を確認した旨を示すデータをサイト側処理装置1へ送る。

【0155】サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置6から登録内容確認画面に示された内容を確認した旨を示すデータを受信すると、売手と買手との間での本件の商取引、即ち、この代行サービスを識別するデータであるオークション・コードを作成し、取引データ、集荷データ、サイト会員登録データに関連付けて記憶する。

【0156】サイト側処理装置1の制御部15はオークション・コードを生成すると、このオークション・コードを、記憶部13に記憶された取引データ、集荷データ、サイト会員登録データと関連付けて記憶する。

【0157】次に、制御部15は、「サイトからオークション・コードをEメールで売手へ送る旨」、「そのオークション・コードを売手から買手へ送るよう指示する旨」、「売手からの代行サービスの申込みが完了した旨」、「後に行われる買手からの代行サービスの申込みが完了した後に、主クレジット会社が代行サービスの申込みを受理したか否かの結果を、サイトからEメールで売手に伝える旨」を含むメッセージを作成し、Webサーバ11からユーザ側処理装置6へ送る。次に、サイト側処理装置1の制御部15は、「オークション・コード」と「オークション・コードを買手へ送るよう指示する旨のメッセージ」とを含むEメールを作成し、メールサーバ12からユーザ側処理装置6へ送信する。サイト側処理装置1は、このEメールを送信すると、売手からの代行サービスの申込みを受け付ける処理を終了する。

【0158】オークション・コードを受け取った売手は、そのオークション・コードを含むEメールを作成し、ユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介して買手の処理装置であるユーザ側処理装置7へ送る。オークション・コードは生成時に有効期限（例えば、オーク

ション・コードを生成した日から7日間)が定められ、有効期限内に買手がサイトの代行サービス用ページへアクセスしてオークション・コードを入力しなければ、サイト側処理装置1は代行サービスの申込みを無効とする。サイト側処理装置1はユーザ側処理装置7からのアクセスを待つ。

【0159】ステップE2において、オークション・コードをユーザ側処理装置6から受け取ったサイト会員(買手)は、代行サービスを申込みのために、ユーザ側処理装置7から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1へアクセスする。

【0160】買手であるサイト会員は、ユーザ側処理装置7の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。次に、サイト会員は、ホームページ中の「代行サービス用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置7から送られてきたデータにตอบสนองして、「代行サービス用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置7へ送る。ユーザ側処理装置7は、受信したデータに基づいて、代行サービス用ページを表示部に表示する。

【0161】代行サービス用ページの初期画面は、このサイト会員が売手であるか買手であるかを会員に入力させるためのボタン(売手ボタン、買手ボタン)を表示する。このサイト会員は買手であるので、買手ボタンをクリックする。このクリックによりユーザ側処理装置7からサイト側処理装置1へ送信されたデータにตอบสนองして、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員のサイト会員登録データを検査し、このサイト会員が決済会員であるか非決済会員であるかを調べる。非決済会員である場合には、制御部15は、代行サービスを受けられない旨を示すデータをユーザ側処理装置6へ送信する。

【0162】決済会員である場合には、制御部15は、買手データ入力用画面のデータを記憶部13から読み出してユーザ側処理装置7へ送信する。ユーザ側処理装置7の表示部は買手がデータを入力するための画面を表示する。

【0163】サイト側処理装置1の制御部15は、まず、オークション・コードの入力用画面(オークション・コード入力画面)を構成するためのデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置7へ送信する。買手は、売手から受け取ったオークション・コードを、ユーザ側処理装置7の表示部に表示されたオークション・コード入力画面から入力する。

【0164】サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置7から通信ネットワークおよびWebサーバ11を介してオークション・コードを受け取ると、そ

のオークション・コードを、記憶部13に記憶されている買手のサイト会員登録データと関連付けて記憶する。

【0165】次に、制御部15は、記憶部13から、オークション・コードに関連付けて記憶されている取引データを読み出す。制御部15は、その取引データに基づいて「取引の内容」を買手に確認させるための画面(取引内容確認画面)を作成し、Webサーバ11からユーザ側処理装置7へ送る。この取引内容確認画面は、「商品が出品されたオークション・サイトの名前」、「オークション・サイトで付与された商品番号」、「商品名」、「出品者名(売手がオークション・サイトで用いたユーザ名(ニックネーム))」、「落札金額」、「サービス手数料の支払方法」などのデータを表示する部分と、買手が取引に同意するか否かを入力する欄と、同意しない場合にその理由を入力する欄とを含む。

【0166】買手は、取引内容確認画面で表示された取引の内容を確認する。取引内容確認画面で表示された取引の内容に誤りがあった場合、買手は、取引に同意しないことを示すデータと、同意しない理由を説明するメッセージとを取引内容確認画面から入力する。サイト側処理装置1がWebサーバ11で、取引に同意しない旨を示すデータを受信すると、制御部15は、「今回の代行サービスの申込を無効とし、処理を終了する旨」のメッセージを作成し、Webサーバ11からユーザ側処理装置7へ送信する。また、制御部15は、「買手が取引を拒否した旨および拒否した理由」、「今回の代行サービスの申込を無効として処理を終了する旨」、「この代行サービスを利用したい場合には入力を最初からやり直す必要がある旨」を含むメッセージを作成し、メール・サーバ12から売手の処理装置、即ち、ユーザ側処理装置6へ送信し、この送信後に代行サービスを終了する。

【0167】取引内容確認画面で表示された取引の内容に誤りがなければ、買手は、取引に同意する旨を示すデータを取引内容確認画面から入力し、サイト側処理装置1へ送る。

【0168】サイト側処理装置1がユーザ側処理装置7から、取引に同意する旨を示すデータを受け取ると、制御部15は、商品の配送に必要なデータの入力用画面(配送データ入力画面)を構成するためのデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11を介してユーザ側処理装置7へ送信する。配送データ入力画面は、「商品の配送先の住所」、「配送先で商品を受け取る者の氏名」、「運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号」、「サイトの商品受取確認用ページに関する情報(商品受取確認用ページのURL)の送先となるEメール・アドレス」などを含むデータ(配送データ)を入力する欄を含む。

【0169】「商品受取確認用ページ」とは、サイトが、買手が商品を受け取った旨の通知を買手から受信するために設定しているページである。買手は、商品を受

け取った後に、この商品受取確認用ページにアクセスし、商品を受け取った旨を示すデータを入力する。

【0170】一般に、個人と個人との間での取引では、買手のサイト会員登録データに記録された住所、氏名、電話番号が、商品の配送先の住所、配送先で商品を受け取る者の氏名、配送に関する連絡が可能な電話番号となる場合が多い。また、商品受取確認用ページのURLの送先のEメール・アドレスも、買手がサイト会員登録時に登録したEメール・アドレスである場合が多い。従って、便宜を図るために、制御部15は、記憶部13に記録された買手のサイト会員登録データから、配送データとして使用できるデータ（買手の住所、氏名、電話番号、Eメール・アドレス）を読み出し、それらのデータを配送データ入力画面に挿入した状態でユーザ側処理装置7へ送信する。

【0171】買手は、配送データ入力画面に予め挿入されたデータが適切である場合には、その旨を示すデータをユーザ側処理装置7からサイト側処理装置1へ送信する。しかし、配送データ入力画面に予め挿入されたデータが、買手が望む配送先に関するデータと異なる場合には、買手は、挿入されていた配送データを修正し、修正した配送データをサイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1はWebサーバ11で売手処理装置2から配送データを受け取り、それをオークション・コードと関連付けて記憶部13へ記憶する。

【0172】ステップE3において、サイト側処理装置1の制御部15は、買手に支払いに関するデータを入力させるための支払データ入力画面を作成する。支払データ入力画面の基礎となるデータは記憶部13に記憶されている。

【0173】支払データ入力画面は、「買手が支払うべき金額」を表示する部分と、「ポイント残高」を表示する部分と、「支払いにポイントを使用するか否か」を選択して入力する欄と、ポイントを使用する場合に「使用するポイント数」を入力する欄と、「クレジット・カードでの支払方法」を選択して入力する欄を含む。

【0174】「買手が支払うべき金額」の表示部分には、買手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額と、サービス手数料と、落札金額とサービス手数料の合計金額とを表示し、サービス手数料を売手が支払う場合には、落札金額のみを表示する。落札金額は、記憶部13に記憶した取引データから読み出したものである。サービス手数料は、記憶部13に記憶した集荷データから読み出された「集荷先の住所（商品の集荷先が属する地域）」および配送データから読み出された「配送先の住所（商品の配送先が属する地域）」と、「落札金額」とに基づいて計算されたものである。なお、梱包した商品の箱のサイズが規定外である場合には、ステップ7で入力された箱のサイズに基づく料金が別途に計算され加算される。

【0175】「ポイント残高」の表示部分には、点数管理装置2の記憶部21に記憶されている買手のポイント口座にあるポイント残高を表示する。そのために、制御部15は、買手の会員IDと、ポイント残高データをサイト側処理装置1へ送信することを指示するデータとを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信した会員IDに基づいてポイント残高データを記憶部21から読み出し、サイト側処理装置1へ送る。サイト側処理装置1の制御部15は、ポイント残高データを受信し、それを支払データ入力画面の「ポイント残高」表示部分へ挿入する。

【0176】サイト側処理装置1の制御部15は、支払データ入力画面を構成するデータをWebサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置7へ送信する。ユーザ側処理装置7は、この支払データ入力画面を受信して表示部で表示する。この実施形態では、買手による代金の支払いは、上記のネットショッピングの場合と同様に、記憶部13に記憶された買手のサイト会員登録データから読み出されたカード番号に対応するクレジット・カードを用いて行われる。

【0177】買手は、支払データ入力画面中の「支払いにポイントを使用するか否か」を選択して入力する欄に、「使用する」または「使用しない」の何れかを選択して入力する。「使用する」を選択した場合には、「使用するポイント数」を入力する欄から、使用するポイント数を入力する。

【0178】クレジット・カードでの支払方法を入力する欄には、「1回払い」、「分割払い（分割の回数は選択可能）」および「リボルビング払い」の中から1つの支払方法を選択して入力する。

【0179】サイト側処理装置1の制御部15は、Webサーバ11でユーザ側処理装置7から支払に関するデータ（支払データ）を受け取り、オークション・コードと関連付けて記憶部13に記憶する。

【0180】ステップE4において、サイト側処理装置1の制御部15は、支払データに基づいて、買手がポイントを「使用する」を選択したか又は「使用しない」を選択したかを判定する。買手がポイントを「使用する」を選択していた場合、ステップE5へ進む。

【0181】ステップE5において、制御部15は、買手が使用するポイント数を金に換算する。次に、そのポイント数に相当する金額が、「買手が支払うべき金額」よりも低いか高いかを判定する。

【0182】ポイント数に相当する金額が、「買手が支払うべき金額」よりも低い場合、制御部15は、ポイント数に相当する金額を、買手が支払うべき金額から減算することにより、買手がクレジット・カードを用いて支払う金額を計算する。次に、制御部15は、使用されるポイント数のデータ（使用ポイント数データ）と、買手がクレジット・カードを用いて支払う金額のデータ（ク

レジット支払金額データ)とを、支払データと関連付けて記憶部13に記憶する。

【0183】使用するポイント数に相当する金額が、「買手が支払うべき金額」である場合、制御部15は、買手が支払うべき金額に相当するポイント数を示すデータ(使用ポイント数データ)と、買手がクレジット・カードを用いて支払う金額(0円)を示すデータ(クレジット支払金額データ)とを、支払データと関連付けて記憶部13に記憶する。装置の動作は、ステップE5からステップE7へ続く。

【0184】他方、ステップE4において、買手がポイントを使用しないを選択していた場合、ステップE6へ進む。ステップE6において、制御部15は支払データ中の「買手が支払うべき金額」を、クレジット支払金額データとして支払データと関連付けて記憶する。装置の動作は、ステップE6からステップE7へ続く。

【0185】ステップE7において、サイト側処理装置1の制御部15は、集荷データから読み出した落札金額、計算したサービス手数料、配送データ、および支払データに基づいて計算された種々のデータに基づいて、「商品の配送先」および「支払方法」を確認するための画面(登録内容確認画面)を作成する。

【0186】登録内容確認画面中の「支払方法」を表示する部分では、「ポイントを使用するか否か」、「落札金額」、「サービス手数料」、「使用ポイント数」、「クレジット・カードを用いて支払う金額」、「クレジット・カードでの支払方法」の登録結果が表示される。「ポイントを使用するか否か」の部分では、買手がポイントを使用すると入力したか否かを示す。「使用ポイント数」の部分では、商品の代金の支払いに使用するポイント数を表示する。「クレジット・カードを用いて支払う金額」の部分では、ポイントを使用する場合には、支払うべき金額、即ち、商品の代金とサービス手数料との合計(サービス手数料を買手が負担)または商品の代金のみ(サービス手数料を売手が負担)から、使用するポイント数に相当する金額を減算した金額を表示する。ポイントを使用しない場合には、商品の代金とサービス手数料との合計(サービス手数料を買手が負担)または商品の代金のみ(サービス手数料を売手が負担)を表示する。なお、売手がサービス手数料を支払う場合には、「サービス手数料」の部分は表示しない。また、買手がポイントを使用しない場合には、「使用ポイント数」の部分を表示しない。

【0187】サイト側処理装置1は上記の登録内容確認画面をユーザ側処理装置7へ送り、買手は、ユーザ側処理装置7の表示部に表示された登録内容確認画面の内容を検査する。内容に誤りがあった場合には、その誤りの部分を入力した段階まで戻って、その段階から再入力を行う。誤りがなければ、内容を確認した旨を示すデータをサイト側処理装置1へ送る。サイト側処理装置1は、

Webサーバ11で、この確認した旨を示すデータをユーザ側処理装置7から受け取ると、「買手からの代行サービスの申込みが完了した旨」、「主クレジット会社が代行サービスの申込みを拒否した場合には、サイトがEメールでその旨を売手に伝える旨」、および「主クレジット会社が代行サービスの申込みを受け付けたか否かの結果を、サイトからEメールで買手に伝える旨」、「代行サービスの申込みを受け付けた場合に、サイトから受取確認用ページのURLを買手へ送る旨」を含むメッセージを作成し、Webサーバ11を介してユーザ側処理装置7へ送信する。ユーザ側処理装置7は、上記のメッセージをサイト側処理装置1から受信して表示する。処理は図7のステップE7から図8のステップE8へ続く。

【0188】図8のステップE8において、制御部15は、買手がポイントを使用するか否かを判定する。使用しないと判定した場合にはステップE11へ進み、使用すると判定した場合にはステップE9へ進む。

【0189】ステップE9において、制御部15は、買手の会員IDを示すデータと、使用ポイント数を示すデータと、オークション・コードとを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信したデータに基づいて、点数管理装置2の記憶部21に記憶されている買手のポイント口座に、オークション・コードおよび使用ポイント数データとを関連付けて記憶する。次に、制御部22は、買手のポイント残高のうちの、「使用ポイント数データ」で示されたポイント数を、他の目的に使用できないように予約する。この時点では、ポイント残高から使用ポイント数を実際に減算しないので、ポイント残高は、見かけ上は、元のポイント残高と同じである。使用ポイント数は、後に行われる決済の時に、ポイント残高から実際に減算する。

【0190】上記の処理を終了後、サイト側処理装置1は、買手からの代行サービスの申込みを受け付ける処理を終了する。サイト側処理装置1の動作はステップE10へ続く。

【0191】ステップE10において、クレジット支払金額データが0円を示すか否かを判定する。0円の場合にはステップE15へ進み、0円ではない場合にはステップE11へ進む。

【0192】ステップE11において、サイト側処理装置1は、買手に対する与信の判定、即ち、買手のクレジット・カードが決済に使用可能か否かの判定を、クレジット会社処理装置3に行わせる。

【0193】サイト側処理装置1の制御部15は、記憶部13から、買手の与信の判定をクレジット会社処理装置3へ依頼するために必要なデータを読み出す。与信の判定に必要なデータ(与信用データ)は、買手のクレジット・カードのカード番号(買手のサイト会員登録データ中のカード番号データ)と、そのクレジット・カード

の有効期限（買手のサイト会員登録データ中の有効期限データ）と、そのクレジット・カードで支払う金額（上記の「クレジット支払金額データ」）とを含む。制御部15は、この与信用データを、入出力部34から専用通信回線を介してクレジット会社処理装置3へ送る。

【0194】クレジット会社処理装置3は、受信した与信用データ中のカード番号を検査する。カード番号が、主クレジット会社が発行したクレジット・カードのものである場合、制御部32は、記憶部33に記憶されているそのクレジット・カードのデータと、入出力部31で受信した与信用データとに基づいて与信の判定を行う。与信用データに含まれていたカード番号が、提携クレジット会社5が発行したクレジット・カードのものである場合、制御部32は、与信用データを入出力部31から専用通信回線を介して提携クレジット会社5へ送る。提携クレジット会社5は、提携クレジット会社の処理装置の記憶部に記憶されているクレジット・カードのデータと、受信した与信用データとに基づいて与信の判定を行い、その結果を、専用通信回線を介してクレジット会社処理装置3の入出力部31へ送る。

【0195】クレジット会社処理装置3は、クレジット会社処理装置3自体で行った与信の判定結果、または提携クレジット会社5から受信した与信の判定結果を、入出力部31からサイト側処理装置1の入出力部14へ送る。

【0196】ステップE12において、サイト側処理装置1の制御部15は、クレジット会社処理装置3から受信した与信の判定結果を検査する。サイト側処理装置1の制御部15は、「与信がない」ことを示す判定結果を受け取った場合には、ステップE13へ進む。

【0197】ステップE13において、制御部15は、「代行サービスの申込みを拒否した旨」のメッセージを作成し、このメッセージを含むEメールをメール・サーバ12から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6およびユーザ側処理装置7へ送信し、送信後に本件の代行サービスに関する処理を終了する。

【0198】他方、ステップE12において、サイト側処理装置1が、「与信がある」ことを示す判定結果を受け取った場合には、ステップE14へ進む。ステップE14において、制御部15は、この買手の与信があることを示すデータを、オークション・コードと関連付けて記憶部13に記憶する。

【0199】ステップE15において、制御部15は、「代行サービスの申込みを受理した旨」のメッセージを作成し、このメッセージを含むEメールをメール・サーバ12から通信ネットワークを介して売手のユーザ側処理装置6および買手のユーザ側処理装置7へ送信する。また、制御部15は、ユーザ側処理装置7へ送るEメールには「商品受取確認用ページのURL」を含ませる。サイト側処理装置1の動作は図8のステップE15から

図9のステップE16へ続く。

【0200】ステップE16において、サイト側処理装置1の制御部15は、記憶部15中のオークション・コードと関連付けされている売手のサイト会員登録データ、買手のサイト会員登録データ、取引データ、集荷データ、配送データから、商品の配送に必要なデータを抽出し、運送業者が使用できるように編集する。編集されたデータ（運送業者用データ）は、商品名、箱のサイズ、商品の価格等を含む「商品データ」と、売手の住所、氏名、電話番号等を含む「依頼主データ」と、集荷先の住所、集荷先で商品の引き渡しを行う者の氏名、運送業者から集荷に関する連絡が可能な電話番号等を含む「集荷先データ」と、買手の住所、氏名、電話番号等を含む「受取主データ」と、配送先の住所、配送先で商品を引き取る者の氏名、運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号等を含む「配送先データ」と、「オークション・コード」とを含む。

【0201】運送業者用データに、「集荷先データ」および「配送先データ」に加えて「依頼主データ」および「受取主データ」を含ませるのは、例えば、運送中に商品を破損する事故が発生した場合や、禁制品や危険物を偽って配送させるような犯罪行為が発覚した場合などにおいて、責任の所在、補償の対象者等を明確にする必要があるからである。

【0202】制御部15は、この運送業者用データを、メール・サーバ12から通信ネットワークを介して運送業者の処理装置（図示せず）へ送信する。運送業者は、受信した運送業者用データ中の「集荷先データ」が示す集荷先へ商品を集荷に行き、集荷した商品を「配送先データ」が示す配送先へ届ける。

【0203】ステップE17において、運送業者は、配送を完了した後に、運送業者の処理装置からサイト側処理装置1のメール・サーバ12へ、オークション・コードと、配送を完了した旨のメッセージとを含むEメールを、通信ネットワークを介して送信する。

【0204】他方、商品を受け取った買手は、上記のステップE15でユーザ側処理装置7がサイト側処理装置1から受信して保存している「商品受取確認用ページのURL」を用いて、このサイトの商品受取確認用ページにアクセスする。サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置7からの商品受取確認用ページへのアクセスに応答し、そのページを構成するデータを記憶部13から読み出し、Webサーバ11および通信ネットワークを介してユーザ側処理装置7へ送信する。ユーザ側処理装置7の表示部は商品受取確認用ページを表示する。この画面は、このサイトのサイト会員のID入力欄およびパスワード入力欄と、オークション・コード入力欄とを含む。サイト側処理装置1のWebサーバ11は、ユーザ側処理装置7から入力された「ID」、「パスワード」および「オークション・コード」を受信す

る。制御部15は、受信したIDとパスワードとを含む会員登録データが記憶部13に記憶されているか否かを検査し、記憶されている場合には、買手をサイト会員であると判断する。

【0205】次に、制御部15は、記憶部13から、オークション・コードに関連付けて記憶している取引データおよび支払データを読み出し、それらのデータに基づいて、商品および支払方法の確認用画面を構成するデータを作成し、Webサーバ11からユーザ側処理装置7へ送る。買手は、ユーザ側処理装置7の表示部に表示された商品情報および支払方法を確認し、商品を受け取った旨をサイト側処理装置1へ伝えるために、表示部に表示された確認ボタンをクリックする。サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置7から商品を受け取った旨を示すデータをWebサーバ11で受信すると、売手のユーザ側処理装置6へ、買手が商品を受け取った旨のメッセージを含むEメールをメール・サーバ12から送信する。

【0206】ステップE18において、上記ステップE17で運送業者の処理装置から送信されたオークション・コードと配送を完了した旨のメッセージとを含むEメールを受信したサイト側処理装置1の制御部15は、オークション・コードに基づいて記憶部13から、「売手のクレジット・カードのカード番号」、「落札金額」、「サービス手数料」、「サービス手数料の支払方法（サービス手数料を売手と買手の何れが支払うかを示すデータ）」、「代金の受取り方法（代金を現金振込みで受取るか又は別サイトのポイントで受取るかを示すデータ）」のデータを読み出す。

【0207】次に、制御部15は、売手が受取るべき金額を計算する。「売手が受取るべき金額」は、売手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額からサービス手数料を減算した金額であり、買手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額である。

【0208】ステップE19において、制御部15は、「代金の受取方法」データが、売手が代金をこのサイトの点数制度に基づくポイントで受取ることを希望しているか又は現金振込みで受取ることを希望しているかを判定する。現金振込みで受取ることを希望している場合にはステップE20へ進む。

【0209】ステップE20において、制御部15は、入出力部34から専用の通信回線を介して、クレジット会社処理装置3の入出力部31へ、「売手が受取るべき金額」および「売手のクレジット・カードのカード番号」を含むデータ（振込用データ）を、クレジット会社処理装置3へ送る。

【0210】クレジット会社処理装置3の制御部32は、受信した振込用データ中の「売手のクレジット・カードのカード番号」データに基づいて、記憶部33に記憶されている売手のクレジット・カードに関するデータ

を読み出す。制御部32は、その読み出したデータ中の、売手がクレジット・カードの決済に用いるために登録している金融機関4の口座の番号を読み出す。この口座が、主クレジット会社から「売手が受取るべき金額」が振込まれる口座となる。

【0211】次に、クレジット会社処理装置3の制御部32は、振込用データ中の「売手が受取るべき金額」データを読み出し、その金額を、売手の口座へ振込む処理を行う。即ち、クレジット会社処理装置3は、「売手の口座の番号」、「売手が受取るべき金額」、「主クレジット会社の口座の番号（売手の口座へ商品の代金を振込むため）」などを含むデータを、入出力部41から専用通信回線を介して金融機関4へ送る。金融機関4は、このデータに基づいて、主クレジット会社が金融機関4に設けている口座から「売手が受取るべき金額」を引落とし、その金額を売手の口座へ振込み、その後、引落としおよび振込みが完了した旨およびその詳細を示すデータを、専用通信回線を介してクレジット会社処理装置3へ送る。この後、処理はステップE22へ進む。

【0212】他方、ステップE19において、売手が代金をポイントで受取ることを希望していると判定された場合、ステップE21へ進む。ステップE21において、制御部15は、「売手が受取るべき金額」を、このサイトの点数制度に基づくポイントに変換する。次に、制御部15は、このサイト会員の会員IDを示すデータと、変換したポイント数を示すデータと、このポイント数をこのサイト会員のポイント口座へ加算することを指示するデータと、ポイントを増加させる行為を識別するデータ（この場合は、代行サービスにおいて金の代りにポイントを受取ったことを示す）とを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信したデータに回答して、記憶部21から、会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高を読み出し、そのポイント残高へ、ポイント数を示すデータにより示されるポイントを加算してポイント残高を更新する。また、制御部22は、点数履歴データとして、ポイントを増加した日時を示すデータ、ポイントを増加させた行為を識別するデータ、増加したポイント数を示すデータなどを含むデータを、ポイント口座と関連付けて記憶する。

【0213】点数管理装置2の制御部22は、ポイント残高の更新を完了すると、更新完了を示すデータを、サイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1の制御部15は、更新完了を示すデータを受信すると、ポイント変換の手続が完了した旨を示すデータと、ポイント変換の手続完了後の主クレジット会社のポイント残高およびサイトのポイント残高を示すデータとを、ユーザ側処理装置6へ送信する。

【0214】売手が代金をポイントで受取るということは、サイトが、主クレジット会社に代って売手へ代金を支払うことと同じである。従って、サイトは、サイトが

売手に付与したポイント数に相当する対価を、主クレジット会社へ請求する。この実施形態の場合には、サイトは、サイトが売手に付与したポイント数に相当する金額を主クレジット会社へ請求する。制御部15は、入出力部34から専用の通信回線を介して、クレジット会社処理装置3の入出力部31へ、サイトが売手に付与したポイント数に相当する金額（売手が受取るべき金額）およびサイト用の口座番号を含むデータを、クレジット会社処理装置3へ送る。クレジット会社処理装置3の制御部32は、受信したデータに基づいて、ポイント数に相当する金額をサイト用の口座へ振込むための処理を行う。なお、この実施形態では、サイトは主クレジット会社により運営されているので、例えば、サイト用の口座と主クレジット会社の口座とが同じであり、サイトと主クレジット会社の会計処理が連結されている場合には、帳簿上において、サイトが売手に付与したポイント数に相当する金額を、代行側クレジット会社に関する項目から、サイトに係る項目へ移す処理を行う。

【0215】ステップE22において、サイト側処理装置1の制御部15は、オークション・コードに基づいて記憶部13から、「買手のクレジット・カードのカード番号」、「落札金額」、「サービス手数料」、「サービス手数料の支払方法（サービス手数料を売手と買手の何れが支払うかを示すデータ）」、「クレジット・カードでの支払方法（1回払い、分割払い等を示すデータ）」、「ポイントを使用するか否か」、および「クレジット支払金額データ」を読み出す。

【0216】ステップE23において、制御部15は、読み出したデータ中の「ポイントを使用するか否か」データを検査し、買手が、「買手が支払うべき金額」の支払いの全部又は一部としてポイントを使用することを希望するか又は全額をクレジット・カード決済とすることを希望するかを判断する。

【0217】「買手が支払うべき金額」は、買手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額とサービス手数料とを加算した金額であり、売手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額である。また、買手の与信の判定はステップE12で行われているので、行わない。

【0218】買手がポイントを使用しない場合、即ち、全額をクレジット・カードで決済する場合には、処理はステップE24へ進む。ステップE24において、クレジット会社処理装置3の制御部32は、サイト側処理装置1から受信した決済用データ中の売手のクレジット・カードのカード番号を検査する。カード番号が、主クレジット会社が発行したクレジット・カードのカード番号である場合、制御部32は、従来通りのクレジット・カードの決済の処理を行う。

【0219】即ち、買手に対して、クレジット会社処理装置3は、決済用データ中の「クレジット支払金額データ」で示される金額（この場合、「買手が支払うべき金

額」と同じ）を、買手が金融機関4に開設しているクレジット・カード用の口座から所定の引落日に引落すための準備をする。所定の引落日になると、クレジット会社処理装置3は、「買手の口座の番号」、「買手が支払うべき金額」、「主クレジット会社の口座の番号」、「取引（金を買手の口座から引落して主クレジット会社の口座へ振込む取引）を識別するデータ」などを含むデータを、専用通信回線を介して金融機関4へ送る。この実施形態では、「取引を識別するデータ」としてオークション・コードを使用する。金融機関4は、このデータを受信すると、買手が支払うべき金額を買手の口座から引落とし、その金額を主クレジット会社の口座へ振込む処理を行う。金融機関4はこの処理を完了すると、買手の口座番号、買手の口座から引落して主クレジット会社の口座へ振込んだ金額、オークション・コードなどを含むデータ（決済処理完了データ）を、専用の通信回線を介してクレジット会社処理装置3へ送る。

【0220】また、受信した決済用データ中の買手のクレジット・カードのカード番号が、提携クレジット会社が発行したクレジット・カードのカード番号である場合、サイト側処理装置1は、従来通りの、クレジット・カードによる決済の手続を代行する処理を行う。即ち、主クレジット会社は、買手へ「買手が支払うべき金額」を請求するのではなく、提携クレジット会社へ「買手が支払うべき金額」を請求する。提携クレジット会社はその金額を、主クレジット会社へ支払い、且つ買手へ請求して所定の期日に受取る。動作は、ステップE24からステップE28へ進む。

【0221】他方、ステップE23において、「ポイントを使用するか否か」データを検査した結果として、買手がポイントを使用することを希望していると判定した場合には、処理はステップE25へ進む。

【0222】ステップE25において、サイト側処理装置1の制御部15は、「クレジット支払金額データ」を検査し、買手がクレジット・カードで支払う金額が0円か否かを検査する。「使用ポイント数」データで示されるポイント数に相当する金額が、「買手が支払うべき金額」（買手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額とサービス手数料とを加算した金額であり、売手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額のみである）と等しい場合には、「クレジット支払金額データ」で示される金額が0円となっている。

【0223】買手がクレジット・カードで支払う金額が0円ではない場合、ステップE25からステップE26へ進む。買手がクレジット・カードで支払う金額が0円である場合、クレジット・カードによる決済の処理を行わず、ステップE25からステップE27へ進む。

【0224】ステップE26において、クレジット会社処理装置3の制御部32は、上記のステップE24と同様の処理を行う。即ち、サイト側処理装置1から受信し

た決済用データ中の売手のクレジット・カードのカード番号が、主クレジット会社が発行したクレジット・カードのカード番号である場合、買手に対して、クレジット会社処理装置3は、決済用データ中の「クレジット支払金額データ」で示される金額を、買手が金融機関4に開設しているクレジット・カード用の口座（記憶部33に記憶している）から所定の引落日に引落すための準備をする。

【0225】ここで、上記のステップE24の場合、即ち、買手がポイントを使用しない場合には、「クレジット支払金額データ」で示される金額が、「買手が支払うべき金額」（買手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額とサービス手数料とを加算した金額であり、売手がサービス手数料を支払う場合には、落札金額のみである）であった。しかし、ステップE26の場合、即ち、買手がポイントを使用する場合には、「クレジット支払金額データ」で示される金額は、「買手が支払うべき金額」から、「使用ポイント数」データで示されるポイント数に相当する金額を減算した金額である。

【0226】所定の引落日になると、クレジット会社処理装置3は、上記のステップE24の場合と同様に、「買手の口座の番号」、「買手が支払うべき金額」、「主クレジット会社の口座の番号」、「取引を識別するデータ（オークション・コード）」などを含むデータを、専用通信回線を介して金融機関4へ送る。金融機関4は、このデータを受信すると、買手が支払うべき金額を買手の口座から引落とし、その金額を主クレジット会社の口座へ振込む処理を行い、この処理を完了後、決済処理完了データを、専用の通信回線を介してクレジット会社処理装置3へ送る。

【0227】また、受信した決済用データ中の買手のクレジット・カードのカード番号が、提携クレジット会社が発行したクレジット・カードのカード番号である場合、サイト側処理装置1は、上記のステップE24の場合と同様に、従来通りの、クレジット・カードによる決済の手続を代行する処理を行う。この場合にも、主クレジット会社が提携クレジット会社へ請求する金額、および提携クレジット会社が買手へ請求する金額は、「クレジット支払金額データ」で示される金額（この場合、「買手が支払うべき金額」から、「使用ポイント数」データで示されるポイント数に相当する金額を減算した金額）である。

【0228】ステップE27において、サイト側処理装置1の制御部15は、「オークション・コード」および「予約していたポイント数を減算する指示」を含むデータを入出力部14から点数管理装置2へ送る。これらのデータを入出力部23で受信した点数管理装置2の制御部22は、受信したデータ中のオークション・コードを読み出す。次に、このオークション・コードが関連付けて記憶されているポイント口座のポイント残高データを

記憶部21から読み出す。ポイント残高のうちの「使用ポイント数データ」で示されたポイント数は、他の目的に使用できないように、上記のステップE9で予約されている。制御部22は、この予約されていたポイント数をポイント残高から減算し、この買手のポイント残高を更新する。点数管理装置2の制御部22は、この買手のポイント残高を更新が完了すると、その旨を示すデータをサイト側処理装置1へ送信する。

【0229】サイト側処理装置1の制御部15は、ポイント残高の更新が完了した旨のデータを受信すると、使用ポイント数に相当する対価を主クレジット会社へ付与する処理を行う。この実施形態では、対価として金を付与する。

【0230】制御部15は、「使用ポイント数に対応する金額」および「使用ポイント数に対応する金額を、サイト用の口座から引落とし、主クレジット会社の口座へ振込む旨の指示」などを含むデータを、クレジット会社処理装置3へ送る。クレジット会社処理装置3の制御部32は、このデータを受信すると、「使用ポイント数に対応する金額」、「サイト用の口座番号」、および「主クレジット会社の口座番号」を示すデータを金融機関4へ送信する。金融機関4は、クレジット会社処理装置3から受信したデータに基づいて、サイト側の口座から使用ポイント数に対応する金額を引落とし、その金額を主クレジット会社の口座へ振込む処理を行う。なお、この実施形態では、サイトは主クレジット会社により運営されているので、例えば、サイト用の口座と主クレジット会社の口座とが同じであり、サイトと主クレジット会社の会計処理が連結されている場合には、帳簿上で、使用ポイント数に相当する金額を、サイトに関する項目から、主クレジット会社に関する項目へ移す処理を行う。

【0231】ステップE28において、クレジット会社処理装置3は、サービス手数料の精算を行う。サービス手数料の会計処理は、記憶部33に記憶された制御部32により管理される電子的な帳簿上で行われる。

【0232】買手がポイントを使用しない場合、制御部32は、「買手が支払うべき金額」が買手の口座または提携クレジット会社の口座から主クレジット会社の口座に振込まれたことを示す「決済処理完了データ」を金融機関4から受信すると、「決済処理完了データ」からオークション・コードを読み出し、そのオークション・コードと、オークション・コードに対応するサービス手数料をクレジット会社処理装置4へ知らせることを依頼するデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1は、このデータに回答して、サービス手数料を示すデータを記憶部13から読み出し、その読み出したデータをクレジット会社処理装置3へ送信する。クレジット会社処理装置3は、サービス手数料を示すデータが示す金額を帳簿上で収入として計上する。

【0233】買手がポイントを使用する場合、制御部3

2は、「決済処理完了データ」を金融機関4から受信し、且つサイト側の口座から使用ポイント数に対応する金額を引落し、その金額を主クレジット会社の口座へ振込む処理を完了した旨を示すデータを金融機関4から受信した後に、サービス手数料を帳簿上で収入として計上する。

【0234】以上で、代行サービスの処理は終了する。F. サイトにおける点数制度に基づくポイントと景品とを交換する処理

図11はサイトにおける点数制度に基づくポイントと景品とを交換する処理のフローチャートを示す。

【0235】サイトは、サイト会員が獲得したポイントを景品と交換するためのページ（景品交換用ページ）を設けている。図11のステップF1において、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。

【0236】次に、サイト会員は、ホームページ中の「景品交換用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータにตอบสนองして、「景品交換用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出す。

【0237】次に、制御部15は、会員IDと、ポイント残高データをサイト側処理装置1へ送信することを指示するデータとを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信した会員IDに基づいてポイント残高データを記憶部21から読み出し、サイト側処理装置1へ送る。サイト側処理装置1の制御部15は、ポイント残高データを受信し、それを景品交換用ページ中のサイト会員のポイント残高を示す欄に挿入する。制御部15は、その景品交換用ページを、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ユーザ側処理装置6は、景品交換用ページを受信して表示部に表示する。

【0238】景品交換用ページの画面は、ポイントと交換可能な景品の画像、景品の名称、景品との交換に必要なポイント数、景品を識別する景品番号などを表示する部分と、サイト会員がポイントと景品の交換を希望する場合に、会員ID、パスワード、景品番号、および景品の個数を入力する欄を含む。

【0239】サイト会員は、景品交換用ページに所望の景品が出品されている場合に、会員ID、パスワード、景品番号、および景品の個数を、景品交換用ページの画面を介して入力する。

【0240】ステップF2において、サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置6から送信されてきたデータ（会員ID、パスワード、景品番号、景品の個数）にตอบสนองして、景品交換申込フォームを作成する処理を開始する。景品交換申込フォームは、サイト会員がポイントとの交換を希望する景品の「景品番号」、「景

品の個数」、「使用するポイント数」、「サイト会員のポイント残高」などを表示する欄と、「景品の配送先の住所」、「配送先で景品を受取る者の氏名」、「運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号」などの景品の配送に関連するデータを入力する欄を含む。

【0241】景品交換申込フォームを作成するために、まず、制御部15は、ステップF1において得たポイント残高データを景品交換申込フォームへ挿入する。次に、制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した景品番号を示すデータに基づいて、記憶部13内に設けられている景品用のデータ・ファイルへアクセスしてその景品を獲得するのに必要なポイント数を読み出し、その読み出したポイント数と、景品の個数を示すデータとに基づいて、景品を獲得するために必要なポイント数を計算する。制御部15は、計算したポイント数とポイント残高とを比較し、計算したポイント数がポイント残高を越える場合には、「ポイント残高が不足のため、サイト会員が選択した景品と交換できない旨」を示すデータを作成してユーザ側処理装置6へ送信し、景品番号および景品の個数の再入力を促す。

【0242】制御部15が計算したポイント数がポイント残高以下である場合には、制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した景品番号および個数と、制御部15が計算したポイント数とを、景品交換申込フォームへ挿入する。

【0243】また、一般に、サイト会員のサイト会員登録データに記録された住所、氏名、電話番号が、景品の配送先の住所、配送先で景品を受取る者の氏名、運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号となる場合が多い。従って、便宜を図るために、制御部15は、記憶部13に記録されたサイト会員登録データから、使用でき得るデータ（サイト会員の住所、氏名、電話番号など）を読み出し、それらのデータを、景品の配送に関連するデータを入力する欄に挿入する。

【0244】サイト側処理装置1は、作成した景品交換申込フォームをユーザ側処理装置6へ送信する。ステップF3において、ユーザ側処理装置6は、サイト側処理装置1から受信した景品交換申込フォームを表示部で表示する。サイト会員は、サイト側処理装置1で景品交換申込フォームに予め入力されている配送に関連するデータを検査し、予め入力されているデータが適切でない場合には修正する。例えば、景品交換申込フォームの「景品の配送先の住所」の部分に予め入力されている配送先の住所が、サイト会員が希望する景品の配送先の住所と異なる場合、その部分を所望の配送先の住所に修正する。

【0245】景品交換申込フォームの確認を完了すると、サイト会員は、確認済みの景品交換申込フォームを、ユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1

は、この景品交換申込フォームをWebサーバ11で受信し、その中に含まれるデータを記憶部15へ記憶する。

【0246】ステップF4において、制御部15は、このサイト会員の会員IDを示すデータと、ステップF2において計算した使用するポイント数を示すデータと、ポイントを減少させる行為を識別するデータ（この場合、景品交換に使用したことを示す）とを、点数管理装置2へ送信する。

【0247】点数管理装置2の制御部22は、受信したデータに回答して、記憶部21から、会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高を読み出し、そのポイント残高から、使用するポイント数を示すデータにより示されるポイントを減算し、ポイント残高を更新する。また、制御部22は、点数履歴データとして、ポイントを減少した日時を示すデータ、ポイントを減少させた行為を識別するデータ、減少したポイント数を示すデータなどを含むデータを、ポイント口座と関連付けて記憶する。

【0248】点数管理装置2の制御部22は、ポイント残高の更新を完了すると、更新を完了した旨を示すデータと、更新されたポイント残高を示すデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。

【0249】ステップF5において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員による景品交換の申込みが受付られたことを示すデータを作成する。このデータは、景品交換の申込みが受付られたことを示すデータに加えて、サイト会員が獲得した景品を識別するデータ（景品名、景品番号など）、景品の個数、使用したポイント数、ポイント残高などを示すデータを含む。制御部15は、このデータをWebサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送信し、ユーザ側処理装置6は、このデータを受信して表示部で表示する。

【0250】サイト側処理装置1の制御部15は、サイト会員から受信して記憶部13に記憶していた景品交換申込フォームに含まれていたデータ中の、景品の配送先の住所、配送先で景品を受取る者の氏名、および運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号のデータを読み出し、このデータを運送業者へ送信して景品の配送を依頼する。

【0251】以上で、ポイントを景品と交換する処理は終了する。

G. 懸賞を実施する処理

サイトは、サイトが準備した商品が当たる懸賞に、サイト会員が応募するためのページ（懸賞応募用ページ）を設けている。このサイトが実施する懸賞制度では、懸賞に応募するためにポイントが必要とする。例えば、或る商品が当たる懸賞に応募するためには、1口の応募について100ポイントが必要とし、他の商品が当たる懸賞

では1口の応募について300ポイントが必要とするというように、各懸賞毎に応募に必要なポイント数が定められる。

【0252】図12は懸賞を実施する処理のフローチャートを示す。図12のステップG1において、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。

【0253】次に、サイト会員は、ホームページ中の「懸賞応募用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータに回答して、「懸賞応募用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出す。

【0254】次に、制御部15は、会員IDと、ポイント残高データをサイト側処理装置1へ送信することを指示するデータとを、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、受信した会員IDに基づいてポイント残高データを記憶部21から読み出し、サイト側処理装置1へ送る。サイト側処理装置1の制御部15は、ポイント残高データを受信し、それを懸賞応募用ページ中のサイト会員のポイント残高を示す欄に挿入する。制御部15は、その懸賞応募用ページを、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ユーザ側処理装置6は、懸賞応募用ページを受信して表示部に表示する。

【0255】懸賞応募用ページの画面は、懸賞で当たる商品の画像、商品の名称、この懸賞に応募するために必要なポイント数、懸賞を識別する懸賞番号、懸賞の応募期間などを表示する部分と、サイト会員が懸賞に応募する場合に、会員ID、パスワード、懸賞番号、および応募の口数を入力する欄とを含む。

【0256】サイト会員は、懸賞応募用ページに所望の商品が出品されている場合に、会員ID、パスワード、懸賞番号、および応募の口数を、懸賞応募用ページの画面を介して入力する。

【0257】ステップG2において、サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置6から送信されてきたデータ（会員ID、パスワード、懸賞番号、応募の口数）に回答して、懸賞応募フォームを作成する処理を開始する。

【0258】懸賞応募フォームは、サイト会員が応募する懸賞の「懸賞番号」、「応募の口数」、「懸賞応募に使用するポイント数」、「サイト会員のポイント残高」などを表示する欄と、このサイト会員が懸賞に当たった場合の「商品の配送先の住所」、「配送先で商品を受取る者の氏名」、「運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号」などの景品の配送に関連するデータを入力する欄とを含む。

【0259】懸賞応募フォームを作成するために、まず、制御部15は、ステップG1において得たポイント

残高データを懸賞応募フォームへ挿入する。次に、制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した懸賞番号を示すデータに基づいて、記憶部13内に設けられている懸賞用のデータ・ファイルへアクセスしてその懸賞に応募するために必要なポイント数(1口分)を読み出し、その読み出したポイント数と、応募の口数を示すデータとに基づいて、懸賞応募に必要なポイント数を計算する。制御部15は、計算したポイント数とポイント残高とを比較し、計算したポイント数がポイント残高を越える場合には、「ポイント残高が不足のため、サイト会員が望む懸賞応募ができない旨」を示すデータを作成してユーザ側処理装置6へ送信し、懸賞番号および応募の口数の再入力を促す。

【0260】制御部15が計算したポイント数がポイント残高以下である場合には、制御部15は、ユーザ側処理装置6から受信した懸賞番号および応募の口数と、制御部15が計算したポイント数とを、懸賞応募フォームへ挿入する。

【0261】また、一般に、サイト会員のサイト会員登録データに記録された住所、氏名、電話番号が、商品の配送先の住所、配送先で商品を受取る者の氏名、運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号となる場合が多い。従って、便宜を図るために、制御部15は、記憶部13に記録されたサイト会員登録データから、使用でき得るデータ(サイト会員の住所、氏名、電話番号など)を読み出し、それらのデータを、商品の配送に関連するデータを入力する欄に挿入する。

【0262】サイト側処理装置1は、作成した懸賞応募フォームをユーザ側処理装置6へ送信する。ステップG3において、ユーザ側処理装置6は、サイト側処理装置1から受信した懸賞応募フォームを表示部で表示する。サイト会員は、サイト側処理装置1で懸賞応募フォームに予め入力されている配送に関連するデータを検査し、予め入力されているデータが適切でない場合には修正する。

【0263】懸賞応募フォームの確認を完了すると、サイト会員は、確認済みの懸賞応募フォームを、ユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1へ送信する。サイト側処理装置1は、この懸賞応募フォームをWebサーバ11で受信し、その中に含まれるデータを記憶部15へ記憶する。

【0264】ステップG4において、制御部15は、このサイト会員の会員IDを示すデータと、ステップG2において計算した使用するポイント数を示すデータと、ポイントを減少させる行為を識別するデータ(この場合、懸賞応募に使用したことを示す)とを、点数管理装置2へ送信する。

【0265】点数管理装置2の制御部22は、受信したデータに回答して、記憶部21から、会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高を読み出し、その

ポイント残高から、使用するポイント数を示すデータにより示されるポイントを減算し、ポイント残高を更新する。また、制御部22は、点数履歴データとして、ポイントを減少した日時を示すデータ、ポイントを減少させた行為を識別するデータ、減少したポイント数を示すデータなどを含むデータを、ポイント口座と関連付けて記憶する。

【0266】点数管理装置2の制御部22は、ポイント残高の更新を完了すると、更新を完了した旨を示すデータと、更新されたポイント残高を示すデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。

【0267】ステップG5において、サイト側処理装置1の制御部15は、応募の口数に対応する数の受付番号を作成し、この受付番号を、懸賞応募フォームに含まれていたデータ(懸賞番号など)およびサイト会員登録データと関連付けて記憶部13に記憶する。即ち、サイトはサイト会員に、該サイト会員による応募の口数に対応する数の受付番号を交付する。抽選の際には、交付した全ての受付番号の中から所定数の受付番号を抽出し、その受付番号が交付されたサイト会員を当選者とする。

【0268】また、制御部15は、応募期間終了後に懸賞の当選者の抽選を行う時に使用するために、この懸賞番号と、この懸賞に対して発行した受付番号とを関連付けて記録するファイル(抽選用ファイル)を、記憶部13に作成する。

【0269】ステップG6において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員による懸賞の応募が受付られたことを示すデータを作成し、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送信する。このデータは、懸賞の応募が受付られたことを示すデータに加えて、サイト会員が応募した懸賞を識別するデータ(懸賞で当たる商品名、懸賞番号など)、応募の口数、使用したポイント数、ポイント残高などを示すデータを含む。ユーザ側処理装置6の表示部は、サイト側処理装置1から受信した、懸賞の応募が受付られたことを示すデータを表示する。以上で、懸賞の応募の処理は完了する。

【0270】サイト会員は、懸賞の当選者を発表するEメールがサイト側処理装置1から送られてくるのを待つ。ステップG7において、制御部15は、記憶部13内の懸賞用のデータ・ファイルへアクセスし、応募期間が終了した懸賞があるか否かを検査する。応募期間が終了した懸賞があった場合には、その懸賞の懸賞番号に基づいて、対応する抽選用ファイルを読み出す。制御部15は、この抽選用ファイルに記録されている受付番号のうちから、この懸賞で当たる商品数と同じ数だけの受付番号を任意に選択、即ち、抽選する。制御部15は、選択した受付番号と同じ受付番号と、この懸賞の懸賞番号とが関連付けて記録されているサイト会員登録データとを記憶部15から読み出す。そのサイト会員登録データに

より識別されるサイト会員が、当選者として決定される。

【0271】制御部15は、抽選が完了した懸賞の懸賞番号が関連付けて記録されている全てのサイト会員登録データを読み出し、当選したサイト会員に対しては、懸賞に当選した旨のメッセージを含むEメールを作成し、落選したサイト会員に対しては、懸賞に落選した旨のメッセージを作成し、そのメッセージを含むEメールをメール・サーバ12からユーザ側処理装置6へ送信する。

【0272】次に、制御部15は、当選者に関しては、当選したサイト会員から受信して記憶部13に記憶していた懸賞応募フォームに含まれていたデータ中の、商品の配送先の住所、配送先で商品を受取る者の氏名、および運送業者から配送に関する連絡が可能な電話番号のデータを読み出し、このデータを運送業者へ送信して商品の配送を依頼する。

【0273】以上で、懸賞を実施する処理は終了する。H. 広告や案内などの送先となる人をサイト会員から紹介してもらう処理サイトは、広告や案内などの送先となる人をサイト会員から紹介してもらうためのページ（友人紹介用ページ）を設けている。サイトは、サイト会員が紹介した人（以下、友人という）へ、広告や案内などを送る。友人をサイトへ紹介したサイト会員には、所定のポイントが付与される。

【0274】図13は広告や案内などの送先となる人をサイト会員から紹介してもらう処理のフローチャートを示す。図13のステップH1において、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホームページから会員IDおよびパスワードを入力する。

【0275】次に、サイト会員は、ホームページ中の「友人紹介用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータに応答して、「友人紹介用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出す。制御部15は、その友人紹介用ページを、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ユーザ側処理装置6は、友人紹介用ページを受信して表示部に表示する。

【0276】友人紹介用ページの画面は、このサイト会員の友人のEメール・アドレス（以下、友人Eメール・アドレスという）を入力する欄と、オプションで友人の名前を入力する欄を含む。

【0277】サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示された友人紹介用ページから、友人Eメール・アドレスを入力する。友人の名前を入力する欄への入力オプションであるので、入力しなくてもよい。

【0278】ステップH2において、サイト側処理装置1の制御部15は、ユーザ側処理装置6から友人Eメール・アドレスを受信すると、記憶部13から友人Eメール・アドレスを記録するファイルを読み出し、受信した

友人Eメール・アドレスが既にこのファイルに記録されているか否かを検査する。

【0279】このファイルに、このサイト会員から受信した友人Eメール・アドレスと同じEメール・アドレスが既に記録されている場合には、制御部15は、「サイト会員が紹介した友人のEメール・アドレスが既に記録されている旨」を示すデータを、ユーザ側処理装置6へ送信する。

【0280】このファイルに、このサイト会員から受信した友人Eメール・アドレスと同じEメール・アドレスが記録されていない場合には、制御部15は、このサイト会員の会員IDと、このサイト会員から受信した友人Eメール・アドレスとをこのファイルへ記録する。次に、制御部15は、「サイト会員が紹介した友人のEメール・アドレスをサイトに記録した旨」を示すデータを、ユーザ側処理装置6へ送信する。

【0281】ステップH3において、サイト側処理装置1の制御部15は、このサイト会員が紹介した友人へ、即ち、友人Eメール・アドレスへ、「サイト会員から広告や案内などの送先として紹介された旨」を知らせるEメールを送信する。制御部15は、この送信したEメールに関するデータを記憶部13へ記録する。このデータは、Eメール自体に加えて、Eメールの送信時刻などのデータも含む。

【0282】また、サイト側処理装置1の制御部15は、何らかの理由で宛先へ届かず、サイト側処理装置1へ返送されてきたEメールに関するデータも記憶する。ステップH4において、サイト側処理装置1の制御部15は、このEメールが宛先、即ち、友人Eメール・アドレスへ届いたか否かを判断する。

【0283】Eメールが宛先へ届かなかった場合には、通常は約30分以内に、そのEメールが送り主、即ち、サイト側処理装置1へ返送されてくる。従って、サイト側処理装置1の制御部15は、定期的、例えば、1時間毎に、ステップH3で記録した、送信したEメールに関するデータと、返送されてきたEメールに関するデータとを比較し、一致するデータがあった場合には、そのEメール・アドレスが使用不可能であると判断し、一致するデータがなかった場合には、送信されたEメールが宛先へ届いたものと判断する。

【0284】制御部15が、Eメール・アドレスが使用不可能であると判断した場合には、ステップH4からステップH5へ進む。ステップH5において、制御部15は、返送されてきたEメールのEメール・アドレスと一致するEメール・アドレスを、友人Eメール・アドレス記録用のファイルから削除する。次に、制御部15は、「サイト会員が紹介した友人のEメール・アドレスへ、サイトからEメールを送信できなかった旨」を示すメッセージを含むEメールを作成し、メール・サーバ12からユーザ側処理装置6へ送信し、友人紹介に関する処理

を終了する。

【0285】他方、制御部15が、送信したEメールが宛先へ届いたものと判断した場合には、ステップH4からステップH6へ進む。ステップH6において、制御部15は、サイト会員登録データ中の会員IDを読み出し、その会員IDと、このサイトにおいてユーザが行った行為を識別するデータとを、点数管理装置2へ送信する。この場合、ユーザが行った行為を識別するデータは、友人紹介を行ったことを示すデータであり、この行為はポイントを増加させる行為である。

【0286】この実施形態では、点数管理装置2の記憶部21に記憶されている点数制度の規則において、友人紹介を行ったサイト会員に対して所定のポイントを付与することが定められているものとする。

【0287】点数管理装置2の制御部22は、受信したデータにตอบสนองして、記憶部21から、会員IDにより識別されるポイント口座のポイント残高を読み出し、サイト会員が行った行為を識別するデータ（この場合、友人紹介を行ったことを示すデータ）に基づいて、記憶部21から、友人紹介という行為に対して付与するポイント数を読み出す。制御部22は、その読み出したポイント数をサイト会員のポイント残高へ加算してポイント残高を更新する。

【0288】点数管理装置2の制御部22は、ポイント残高の更新を完了すると、更新を完了した旨を示すデータと、更新されたポイント残高を示すデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。このデータを受信すると、制御部15は、「サイト会員が紹介した友人のEメール・アドレスへ、サイトからEメールが送信された旨」と、更新したポイント残高とを示すメッセージを含むEメールを作成し、メール・サーバ12からユーザ側処理装置6へ送信し、友人紹介に関する処理を終了する。

【0289】I. 他の会社等が営業活動を行うページにおいてポイントを付与する処理
サイトのページを使用して営業活動を行う業者には、例えば、保険会社やローン会社などがある。このような業者は、そのページを介してオンラインで種々の申込みを受け付ける。

【0290】このサイトでは、業者が営業活動を行っているページにおいて、サイト会員が、保険の見積りの依頼、ローンの申込み、アンケートへの記入、業者が主催する会への会員登録、商品の購買などを行った時に、そのサイト会員へポイントを付与するようにする。

【0291】以下の説明では、サイトにおいてサイト会員が保険会社のページへアクセスして保険の見積りを依頼する場合について説明する。図14は他の会社等が営業活動を行うページにおいてポイントを付与する処理のフローチャートを示す。

【0292】図14のステップ11において、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示されたホーム

ページから会員IDおよびパスワードを入力する。次に、サイト会員は、ホームページ中の「保険会社用ページ」を開くためのボタンをクリックする。サイト側処理装置1は、このクリックによりユーザ側処理装置6から送られてきたデータにตอบสนองして、「保険会社用ページ」を構成するデータを記憶部13から読み出す。制御部15は、その保険会社用ページを、Webサーバ11から通信ネットワークを介してユーザ側処理装置6へ送る。ユーザ側処理装置6は、保険会社用ページを受信して表示部に表示する。

【0293】保険会社用ページの画面は、この保険会社が提供する保険についての説明を記載するページへアクセスするためのボタンと、保険の加入を申込みための保険申込フォームを表示するためのボタンと、保険の見積を申込みための保険見積フォームを表示させるためのボタンと、保険の加入を申込み場合および保険の見積を申込み場合に保険の種類を選択するためのボタンとを含む。保険の種類を選択するボタンは、保険の種類と同じ数だけある。保険の種類には、例えば、自動車保険、生命保険などがある。

【0294】ステップ12において、サイト会員は、保険見積フォームを表示させるためのボタンと、保険の種類を選択するボタンとをクリックする。ここでは、サイト会員が、自動車保険を選択したものとする。このクリックによりユーザ側処理装置6からサイト側処理装置1へ送信されたデータにตอบสนองして、サイト側処理装置1の制御部15は、自動車保険の見積に必要なデータを入力するための画面（保険見積データ入力画面）を構成するデータを記憶部13から読み出してユーザ側処理装置6へ送信する。ユーザ側処理装置6の表示部は保険見積データ入力画面を表示する。

【0295】保険見積データ入力画面は、サイト会員の「会員ID」および「パスワード」を入力する欄と、サイト会員の「住所」、「氏名」、「年齢」、「運転年数」、「車種」、「車の年式」、「Eメール・アドレス」、「電話番号」などを含むデータ（見積用データ）を入力する欄を含む。サイト会員は、見積用データを、ユーザ側処理装置6から保険見積データ入力画面を介して入力する。見積用データの入力が完了すると、サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部に表示された画面上で入力したデータを確認し、誤りがあればそれを修正する。誤りがなければ、会員ID、パスワードおよび見積用データをユーザ側処理装置6から通信ネットワークを介してサイト側処理装置1のWebサーバ11へ送信する。

【0296】ユーザ側処理装置6は、保険の見積書がサイト側処理装置1から送られて来るまで、サイト側処理装置1のWebサーバ11との通信状態を維持する。ステップ13において、会員ID、パスワードおよび見積用データを受信したサイト側処理装置1の制御部15

は、この保険の見積を識別するデータ（見積番号）を作成する。制御部15はこの見積番号を見積用データに付加し、且つこの見積番号をサイト会員登録データと関連付けて記憶部13に記憶する。

【0297】サイト側処理装置1は入出力部14から、見積用データを保険会社の処理装置（図示せず）へ送信する。なお、保険見積フォームから入力された会員IDおよびパスワードは、保険会社へは送らない。

【0298】ステップ14において、制御部15は、このサイト会員の会員IDと、ポイントを増加させる行為を識別するデータ（この場合、保険の見積の申込みを行ったことを示す）とを、点数管理装置2へ送信する。

【0299】この実施形態では、点数管理装置2の記憶部21に記憶された点数制度の規則において、保険の見積の申込みを行ったサイト会員に対して所定のポイントを付与することが定められているものとする。点数管理装置2の制御部22は、サイト会員が行った行為を識別するデータ（この場合、保険の見積の申込みを行ったことを示すデータ）に基づいて、記憶部21から、保険の見積の申込みという行為に対して付与するポイント数を読み出し、そのポイント数を、記憶部21に設けたサイト会員のポイント口座へ入力する。また、制御部22は、点数履歴データとして、ポイントを増加した日時を示すデータ、ポイントを増加させた行為を識別するデータ、増加したポイント数を示すデータなどを含むデータを、ポイント口座と関連付けて記憶する。

【0300】点数管理装置2の制御部22は、サイト会員のポイント残高の更新を完了すると、更新を完了した旨を示すデータと、更新されたポイント残高を示すデータとを、サイト側処理装置1へ送信する。

【0301】ステップ15において、保険会社の処理装置は、ステップ13で受信した見積用データに基づいて、このサイト会員の自動車保険の見積書を作成し、見積番号とともにサイト側処理装置1へ返送する。サイト側処理装置1の制御部15は、この受信した見積書に付随する見積番号に基づいて、この見積書の送信先となるサイト会員のユーザ側処理装置6を識別し、そのユーザ側処理装置6へ、見積書と、見積の申込みに対してのポイントポイントをポイント残高に加算した旨のメッセージとを送信する。ユーザ側処理装置6は、受信した見積書とメッセージとを表示部で表示する。

【0302】以上で、サイト会員が保険の見積りを依頼した場合の処理を終了する。また、サイト会員が、サイト中のローン会社のページを介してローンの申込み行った場合にも、サイトがそのサイト会員へポイントを付与するように構成することができる。その場合には、上記の保険の見積の場合と同様の処理を行う。即ち、サイト側処理装置1がユーザ側処理装置6からの要求に応答して、サイト側処理装置1からユーザ側処理装置6へローンの申込みに必要なデータを入力するためのローン申込

フォームを送信し、サイト会員がデータをローン申込フォームに入力してサイト側処理装置1へ送信し、サイト側処理装置1が入力済みの申込フォームを受信した後に、ローン申込みに対して付与するポイント数（予め決めておく）を、サイト会員のポイント残高へ加算する。

【0303】また、保険の見積の申込みやローンの申込みに限らず、その他の事に関する申込み（例えば、商品の購買の申込み、会員登録の申込みなど）の際や、アンケート用その他のフォームへの記入の際などにも、上記と同様に、サイト会員へポイントを付与するように構成することができる。

【0304】J. サイト会員にポイントが付与されるその他の処理

サイト会員にポイントが付与されるその他の処理の例として、以下のようなものがある。

【0305】J1. 主クレジット会社のクレジット・カードの請求書の照会に関連してポイントを付与する処理
主クレジット会社は、主クレジット会社のカード会員がクレジット・カードを使用して支払った金額を請求する請求書（使用状況を詳細に記載している）を、通常は、1カ月に1回発行してカード会員へ郵送する。しかし、請求書の発行および請求書の郵送には費用がかかる。その費用を削減するため、主クレジット会社は、このサイトに、請求書の照会のためのページ（請求書照会ページ）を開設する。サイト会員が、主クレジット会社のカード番号を登録した決済会員である場合には、請求書照会ページからクレジット・カードの請求書を照会することができる。その場合の動作は以下のようである。

【0306】このサイトの決済会員であるサイト会員が、ユーザ側処理装置6からサイト側へアクセスし、会員IDおよびパスワードを入力する。次に、サイトのホームページから、請求書照会ページを開き、請求書の表示を要求するデータを入力する。サイト側処理装置1は、このデータに応答して、サイト会員のカード番号と、請求書をサイト側処理装置1へ送ることを指示するデータとを、クレジット会社処理装置3へ送信する。クレジット会社処理装置3は請求書をサイト側処理装置1へ送信する。請求書を受信したサイト側処理装置1は、ユーザ側処理装置6へ送信する請求書の表示用の画面に、請求書をカード会員へ「郵送する」か「郵送しない」かを選択するためのボタンを含ませる。サイト側処理装置1は、その画面をユーザ側処理装置6へ送信する。サイト会員は、ユーザ側処理装置6の表示部で表示された画面中の請求書の内容を確認し、請求書をカード会員へ郵送するか否かを選択するためのボタンをクリックする。

【0307】サイト会員が「郵送しない」のボタンをクリックした場合には、サイト側処理装置1は、サイト会員のポイント口座へ所定のポイントを加算し、且つ、サイト会員が「郵送しない」を選択した旨を示すデータと

カード番号データとをクレジット会社処理装置3へ伝える。このデータを受信したクレジット会社処理装置3は、このサイト会員（クレジット会社のカード会員）の請求書を発行しないようにする処理を行う。この処理が行われると、主クレジット会社からこのサイト会員へ請求書が郵送されない。

【0308】J2. サイト会員が、サイト側処理装置1からユーザ側処理装置6へ送信されたEメールに含まれるURLで示されるページへアクセスした場合にポイントが付与する処理

サイト側処理装置1は、サイト会員にアクセスしてもらいたいページを紹介するメッセージと、そのページのURLと、そのページへアクセスすることによりポイントが付与する旨のメッセージとを含むEメールを、ユーザ側処理装置6へ送信する。サイト会員が、受信したEメールを開いてその中に含まれるURLをクリックすると、ユーザ側処理装置6の表示部で、そのURLで識別されるページが表示される。このページに、サイト会員の会員IDおよびパスワードを入力する欄を設けておき、サイト会員が会員IDおよびパスワードを入力すると、サイト側処理装置6がそのサイト会員のポイント残高に、所定のポイントを加算する処理を行う。

【0309】J3. サイトへ所定の時間帯にアクセスし、ポイントを増加させる行為を行ったサイト会員に対してポイントを上乗せする処理

所定の時間帯、例えば、サイトへのアクセス数が少ない時間帯（例えば、午前11時から午後4時の間など）にこのサイトへアクセスし、所定の「ポイントを増加させる行為（例えば、保険の見積りの申込み）」を行ったサイト会員に対して、通常時に付与するポイント数に追加のポイント数（追加ポイント数）を加えたポイント数を付与する。

【0310】サイトは、追加ポイント数を加える処理を行う時間帯を予め定める。この例では、追加ポイント数を付与する処理を行う時間帯は、午前11時から午後4時までとする。また、サイトは、全ての「ポイントを増加させる行為」の中から、この時間帯に行われた場合に追加ポイント数を加える「ポイントを増加させる行為」を予め選択しておく。

【0311】サイト処理装置1の制御部15は、午前11時が来ると、予め選択された「ポイントを増加させる行為」に対するポイント数を追加ポイント数だけ増加させる命令を、点数管理装置2へ送信する。点数管理装置2の制御部22は、記憶部21に記憶されている点数制度の規則のうち、予め選択された「ポイントを増加させる行為」に対するポイント数を、追加ポイント数だけ増加させる変更を行う。選択されていない「ポイントを増加させる行為」に対してのポイントは変更しない。

【0312】サイト会員が、サイト側処理装置1が追加ポイント数を付与する処理を行う時間帯にサイトへアク

セスし、予め選択された「ポイントを増加させる行為」を行うと、そのサイト会員に対して、通常時に付与されるポイント数に追加ポイント数が加算されたポイント数が付与される。

【0313】サイト処理装置1の制御部15は、午後4時が来ると、午前11時に変更された点数制度の規則を元に戻す命令を、点数管理装置2へ送信し、点数管理装置2は、点数制度の規則を元に戻す処理を行う。

【0314】以上が、本発明の装置が行う代表的な処理である。サイト側処理装置1およびサイト側処理装置1と連動する各装置の記憶部は、上記のAないしJの各ステップで説明したそれぞれの処理を行うために必要なプログラムを記憶している。

【0315】上記の実施形態のCにおいて説明したポイント変換処理では、非決済会員と、決済用のクレジット・カードとして提携クレジット会社が発行したクレジット・カードを登録した決済会員とは、クレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換するサービスを受けられないものとした。しかし、別の実施形態として、提携クレジット会社が発行したクレジット・カードを登録した決済会員に関しても、このサービスを受けられるようにすることが可能である。

【0316】その場合には、サイトと提携クレジット会社との間で、上記の実施形態でサイトと主クレジット会社との間で行った処理と同様の処理を実施するように構成する。即ち、提携クレジット会社のポイントとサイトのポイントとの変換率を定めておき、サイト会員が、サイト会員が所有する提携クレジット会社のポイント残高のうちの交換を希望するポイント数（クレジット会社ポイント数）をサイトへ伝え、サイトが、サイト会員から伝えられたクレジット会社ポイント数を提携クレジット会社へ伝え、提携クレジット会社がそのクレジット会社ポイント数を提携クレジット会社のポイント残高から減算し、サイトがクレジット会社ポイント数をサイトのポイントへ変換してサイトのポイント残高へ加算し、サイトが、クレジット会社ポイント数で示されるポイント数に相当する対価を提携クレジット会社から受取るように構成する。

【0317】

【発明の効果】本発明では、第1の点数制度（クレジット会社の点数制度）に基づくポイントを、第1の点数制度と異なる第2の点数制度（サイトの点数制度）のポイントに変換して、第2の点数制度の下で使用可能とするので、第1の点数制度に基づくポイントが、第1の点数制度で定められた用途に加えて、第2の点数制度で定められた用途にも使用可能となり、ポイントの用途が広がる効果がある。

【0318】また、第2の点数制度（サイトの点数制度）に基づくポイントの獲得方法の種類を増やす効果が

ある。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の一実施形態の、決済システムと点数制度を統合したサービスを提供する装置の全体的な構成を示す。

【図2】図2は、図1に示す装置の動作における、サイト会員登録の処理のフローチャートである。

【図3】図3は、図1に示す装置の動作における、ユーザがサイトで行った行為に関する履歴の表示の処理のフローチャートである。

【図4】図4は、図1に示す装置の動作における、クレジット・カードを使用して獲得したポイントをサイトで使用可能なポイントへ変換する処理のフローチャートである。

【図5】図5は、図1に示す装置の動作における、ネットショッピングの処理のフローチャートであり、このフローチャートは図6へ続く。

【図6】図6は、図5から続くネットショッピングの処理のフローチャートである。

【図7】図7は、図1に示す装置の動作における、個人と個人との間での商取引における代金の決済および商品の配送の手続の代行サービスの処理のフローチャートであり、このフローチャートは図8へ続く。

【図8】図8は、図7から続く代行サービスの処理のフ

* ローチャートであり、このフローチャートは図9へ続く。

【図9】図9は、図8から続く代行サービスの処理のフローチャートであり、このフローチャートは図10へ続く。

【図10】図10は、図9から続く代行サービスの処理のフローチャートである。

【図11】図11は、図1に示す装置の動作における、サイトにおける点数制度に基づくポイントと景品とを交換する処理のフローチャートである。

【図12】図12は、図1に示す装置の動作における、懸賞を実施する処理のフローチャートである。

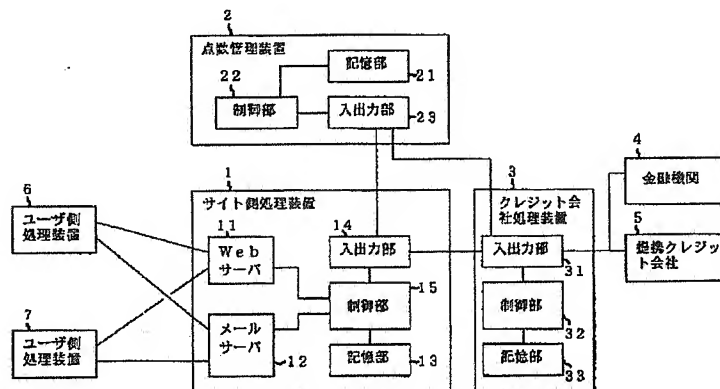
【図13】図13は、図1に示す装置の動作における、広告や案内などの送先となる人をサイト会員から紹介してもらう処理のフローチャートである。

【図14】図14は、図1に示す装置の動作における、他の会社等が営業活動を行うページにおいてポイントを付与する処理のフローチャートである。

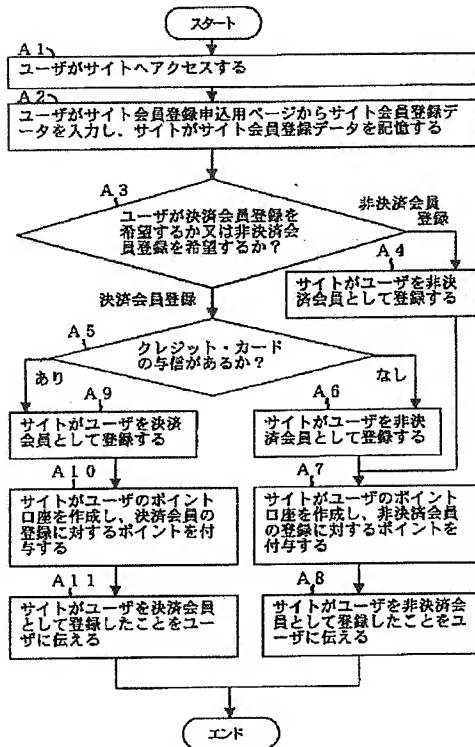
【符号の説明】

1. サイト側処理装置、2. 点数管理装置、3. クレジット会社処理装置、4. 金融機関、5. 提携クレジット会社、6. ユーザ側処理装置、7. ユーザ側処理装置、11. Webサーバ、12. メールサーバ、13. 記憶部、14. 入出力部、15. 制御部、21. 記憶部、22. 制御部、23. 入出力部、31. 入出力部、32. 制御部、33. 記憶部、4. 23. 31 入出力部、15. 22. 32 制御部

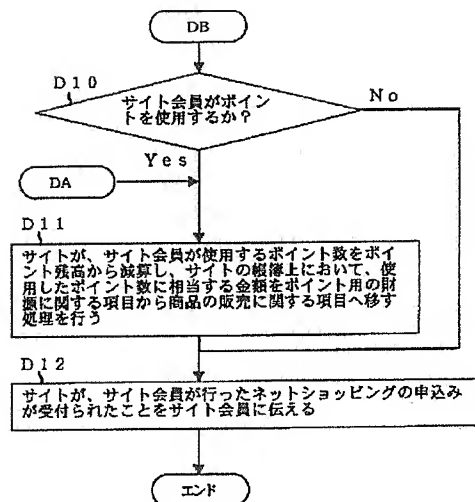
【図1】



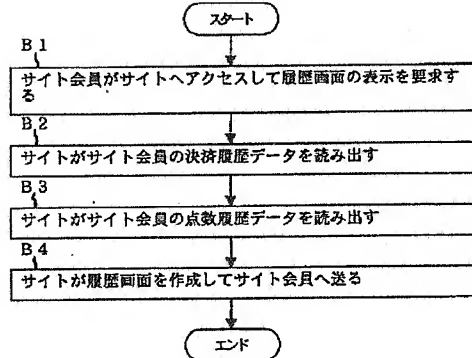
【図2】



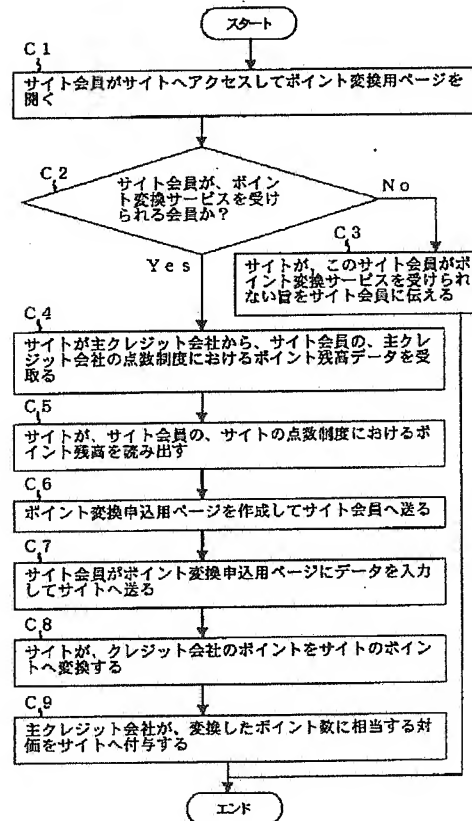
【図6】



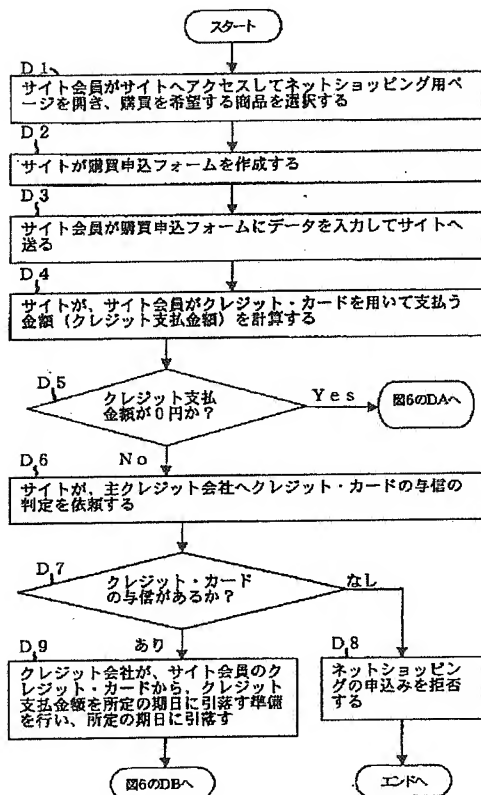
【図3】



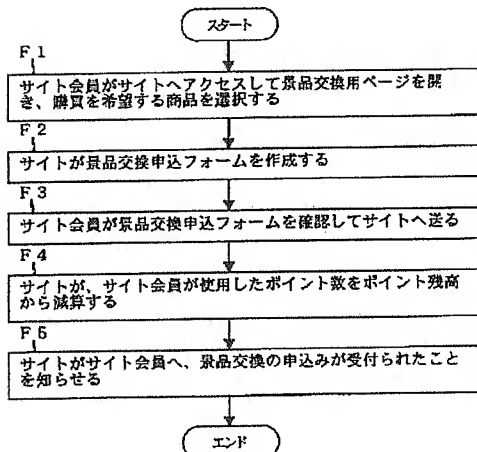
【図4】



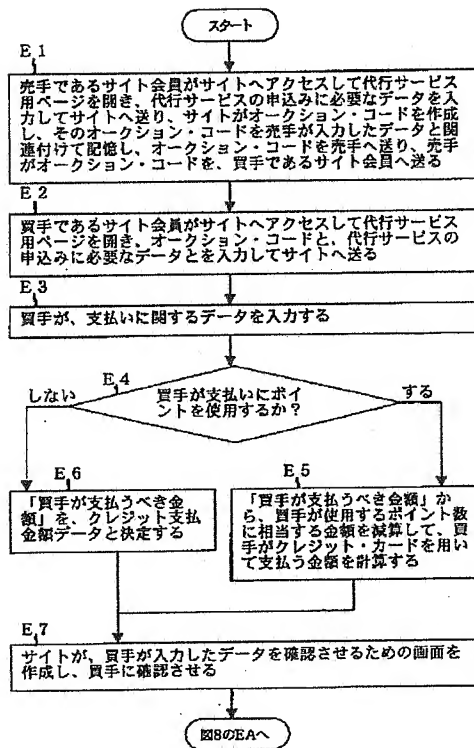
【図5】



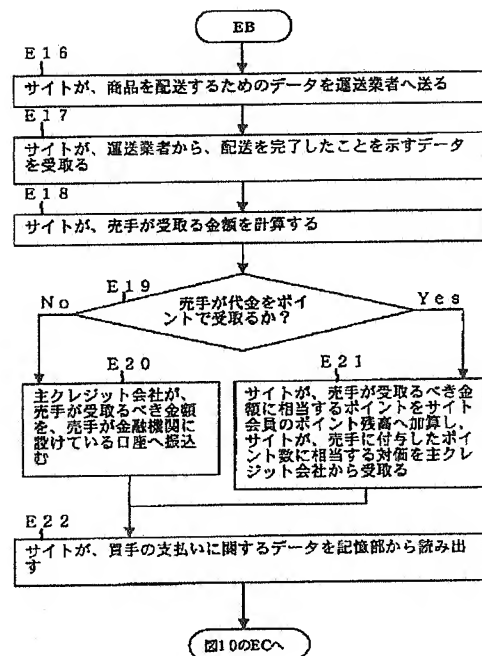
【図11】



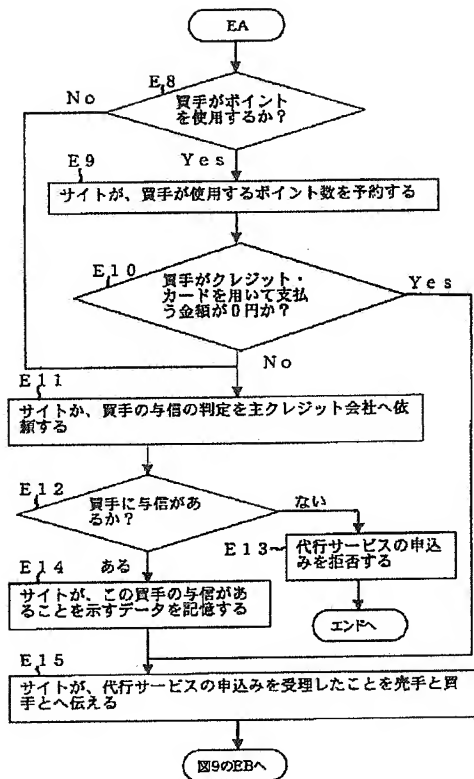
【図7】



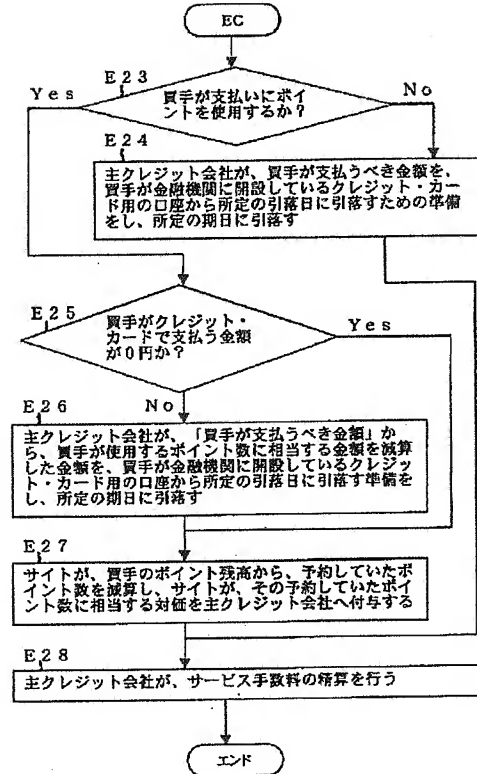
【図9】



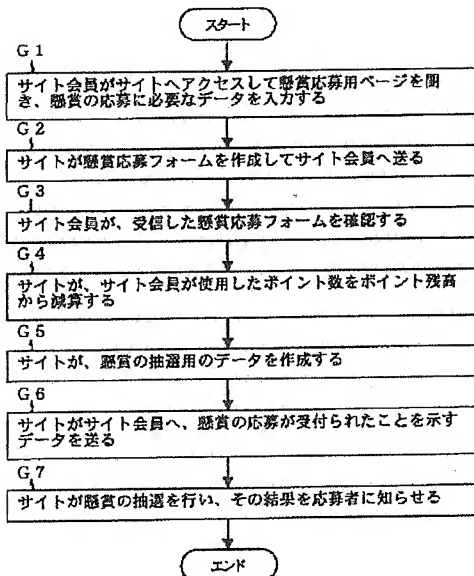
【図8】



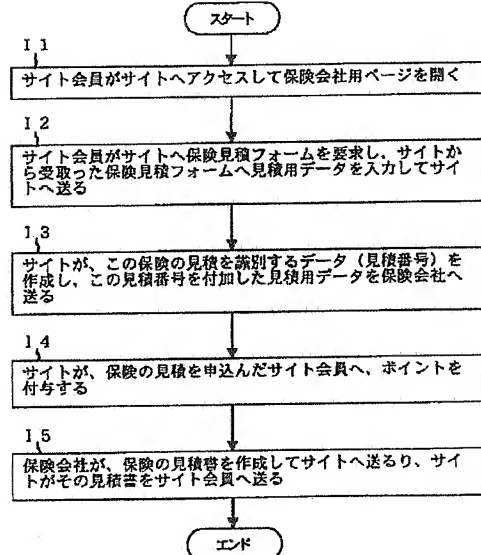
【図10】



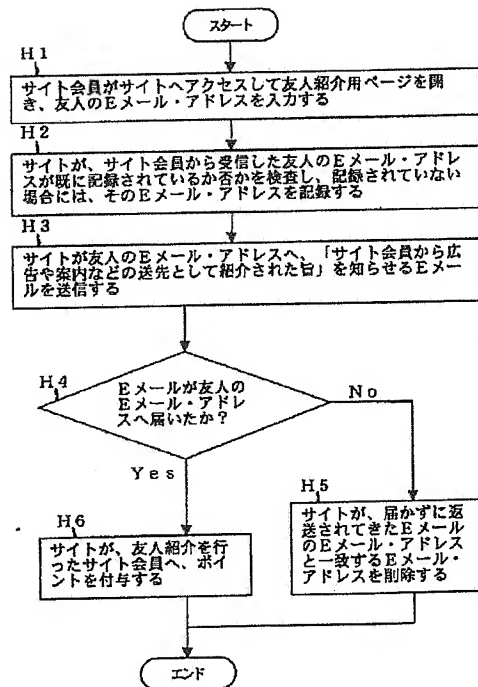
【図12】



【図14】



【図13】



フロントページの続き

(72)発明者 安茂 義洋
東京都港区赤坂七丁目1番16号 アンダー
センコンサルティング株式会社内

(72)発明者 斉藤 公基
東京都港区赤坂七丁目1番16号 アンダー
センコンサルティング株式会社内

(72)発明者 大中田 郁子
東京都港区赤坂七丁目1番16号 アンダー
センコンサルティング株式会社内

Fターム(参考) 5B049 CC00
5B055 CB00 CC00